

令和4年6月23日（木） 16：00

前橋市千代田町1丁目7番4号

群馬県医師会

第153回 群馬県医師会定時代議員会

公益社団法人 群馬県医師会

第153回群馬県医師会定時代議員会議席表

議席番号	医師会	代議員氏名	議席番号	医師会	代議員氏名	備考	代議員定数 1/2 36名		
1	太田	中野正美	37	前橋	須田浩充	役員	氏名		
2		堀越健太郎	38		直田祐子				
3		和賀一雄	39		家崎桂吾				
4		穎原禎人	40		佐治和喜				
5		山口進久	41		道下正彦				
6	群馬	水口滋之	42		高柳亮			理事	
7		水林信義	43		橋爪洋明				
8		今井進	44		細内康男				
9	渋川	川島理	45		望月和子				監事
10		神保進	46		岸川一郎				
11		中野正幸	47		田中義				
12		松本達彦	48		霜田雅史				
13	藤・多	山崎恒彦	49	岡本克実	参与				
14		栗原透	50	森田英樹					
15		杉山博之	51	森弘文					
16		大久保齋	52	田村仁					
17	富・甘	武田滋利	53	相原利一		顧問			
18		武市吉人	54	善如寺恵子					
19		宮崎誠	55	野口俊昭					
20	安中	本多真喜	56	新井英夫			顧問		
21		藤巻康	57	沼賀哲郎					
22		柳澤肇	58	土屋智					
23	吾妻	布施正博	59	有賀長規				顧問	
24		三村松夫	60	菊地一真					
25	沼・利	藤塚勲彦	61	永田徹	顧問				
26		林秀彦	62	高橋厚					
27		石田智之	63	高設楽公一					
28	館・邑	松本恵理子	64	金子浩章					顧問
29		海宝雄人	65	前川佳彰					
30		小柳富彦	66	大澤誠					
31	群大	真中千明	67	羽鳥則夫		顧問			
32		村上正巳	68	山田俊彦					
33		廣村桂樹	69	美原樹					
34		久田剛志	70	五十嵐清人					
35		和田直樹	71	久保讓					
36		木村孝穂	72	塩島正之					
定数計			72名						

第153回群馬県医師会定時代議員会

日時 令和4年6月23日(木) 16:00
場所 前橋市千代田町1丁目7番4号
群馬県医師会

次 第

1. 開 会

1. 群馬県医師会代議員会議長及び副議長の選定

1. 会長挨拶

1. 会務報告（令和3年度）

(1) 庶 務

会員に関する件..... 4

(2) 事 業..... 7

I 医療従事者資質向上事業..... 7

II 地域保健医療推進の向上を目的とする事業.....21

III 公衆衛生疾患治療推進事業.....32

IV 医療水準向上事業.....33

V 母体保護対策事業.....34

VI 医療情報システム対策事業.....34

VII 医療安全対策事業.....36

VIII 地域医療介護総合確保基金.....37

IX 収 益 事 業.....39

X 共 益 事 業.....40

XI 法人会計事業.....42

1. 議 事

第1号議案 令和3年度群馬県医師会会計決算の件.....48

第2号議案 群馬県医師会役員（会長、副会長）選定の件.....66

第3号議案 群馬県医師会裁定委員選任の件.....67

第4号議案 群馬県医師会顧問委嘱の件.....68

第5号議案 令和5年度群馬県医師会入会金、会費及び負担金等の賦課徴収及び
減免に関する件.....69

1. 協 議

1. 閉 会

〈はじめに〉

令和3年度も世界中で新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が猛威を振るっています。群馬県内を見ても、令和3年4月からの第4波で初めてまん延防止等重点措置が適用され、7月からの第5波では1ヶ月以上に亘る緊急事態宣言も発令されました。その後11月以降令和4年6月の現在まで第6波が重く長く続いています。

会員の皆様には、病院、クリニックにおける感染予防や感染拡大防止の取組みに、各医療機関を挙げて取り組まれ、大変な思いをされている中、ワクチン接種、PCR検査や抗原検査、或いは診療の場等で県民の命と健康を守るため、多大のご尽力をいただいております、心から感謝申し上げます。

特に、会員の皆様のご協力により、新型コロナウイルスワクチン接種は、順調に2回の接種が進み、県民の感染防止、重症化予防が大いに進められました。さらに、群馬県感染症対策連絡協議会が中心になり、医療機関や高齢者施設等にICDやICN等の感染対策の専門家を派遣し、各現場に即した感染対策が進められました。

ほとんどの会議、研修会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、引き続き、WEB配信と会場参加人数を制限してのハイブリッドで開催されました。また、会場参加についても、引き続き、感染防止のため体温確認、手指消毒を徹底し、座席の間隔を空けるなどの対策をしつつ開催させていただいております。

そのような中、徳島県で起きた町立病院の電子カルテシステムへのサイバー攻撃が大きな注目を集めました。医療機関に攻撃がされるというこれまでは考えられないようなことも起こることが分かり、様々な対策の必要性が検討されています。

一方、新臨床研修医が増加したことは嬉しい知らせです。群馬県内の令和3年度新臨床研修医数は115人となり、令和2年度97人から大幅な増加となりました。今後も、次世代を担う前途ある若い医師に大きく育てていただけるよう、また、県医師会や郡市医師会の果たす社会的機能について知っていただけるよう、広報や研修機会の確保、充実などにも努めて参りたいと考えております。

2024年（令和6年）の群馬県医療計画改定に向けては、国において「基本方針」や「医療計画作成指針」の策定に向けた作業が進められます。医療体制の大枠の転換にもつながりかねない医師の働き方改革では、宿日直許可のあり方が大きな課題として浮かび上がり、外来機能報告の議論も進められました。日本医師会として、かかりつけ医の制度化には一貫して反対して来ていますが、国ではかかりつけ医のあり方についても議論を進めていく姿勢を崩しておりません。今後も国の動きを注視して参ります。

群馬県医師会館と群馬リハビリテーション病院の建替は、今後の県医師会運営にとり大変大きく重要な課題です。令和3年度は、それぞれの施設の現状把握を進め、候補地を含めた今後の可能性等を探ってきております。今後、時期を見て建設のための委員会の立ち上げ等につなげていきたいと考えております。

県医師会は常に県民の皆さんと共にあります。役員、会員一丸となって県民の健康を守ることが、私たちの大きな使命です。新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい続けていますが、県医師会は日本医師会、郡市医師会と連携し、行政及び関係諸団体と協力しながら、全会員の英知を結集して、この難局に立ち向かい県民の命を守り続ける所存です。

1. 会務報告

(1) 庶務

会員に関する件

- ◎ 令和4年1月1日現在の群馬県医師会員数はA会員1,280名、B会員1,053名、C1会員92名、C2会員106名、計2,531名で郡市医師会別会員数は第1表のとおりである。新規入会数はA会員29名、B会員55名、C1会員18名、C2会員60名、計162名であり、前年同期に比較してみるとA会員10名減、B会員2名減、C1会員1名増、C2会員2名増、計9名減である。
- ◎ 令和4年1月1日現在における群馬県医師会の日本医師会員数はA①会員1,275名、A②(B)会員430名、A②(C)会員51名、B会員297名、C会員47名、計2,100名で郡市医師会別会員数は第2表のとおりである。新規入会数はA①会員29名、A②(B)会員14名、A②(C)会員22名、B会員8名、C会員20名、計93名である。
- ◎ 群馬県医師会敬寿会員数（令和4年1月1日76歳に達した会員）は338名で郡市医師会別現況は第3表のとおりである。
- ◎ 令和3年度群馬県医師会会費減免申請者数は304名で第4表のとおりである。
- ◎ 令和3年4月1日以降令和4年3月31日までに物故会員数は31名で第5表のとおりである。

第1表 群馬県医師会員数現況表

令和4年1月1日現在

区 分 医師会別	A	B	C 1	C 2	計	総員対比
前 橋 市	296 (9)	183 (5)	3 (1)	33 (17)	515 (32)	20.3%
高 崎 市	236 (5)	213 (11)	0 (0)	33 (17)	482 (33)	19.0%
桐 生 市	117 (1)	92 (3)	0 (0)	0 (0)	209 (4)	8.3%
伊 勢 崎 佐 波	129 (2)	140 (10)	2 (1)	0 (0)	271 (13)	10.7%
太 田 市	129 (3)	54 (1)	0 (0)	0 (0)	183 (4)	7.2%
群 馬 郡	49 (1)	25 (1)	0 (0)	0 (0)	74 (2)	2.9%
渋 川 地 区	56 (1)	54 (3)	1 (0)	4 (3)	115 (7)	4.5%
藤 岡 多 野	52 (0)	53 (6)	0 (0)	13 (8)	118 (14)	4.7%
富岡市甘楽郡	47 (2)	25 (1)	0 (0)	0 (0)	72 (3)	2.8%
安 中 市	28 (0)	36 (2)	0 (0)	0 (0)	64 (2)	2.5%
吾 妻 郡	18 (1)	32 (2)	0 (0)	0 (0)	50 (3)	2.0%
沼 田 利 根	39 (2)	57 (3)	1 (0)	1 (1)	98 (6)	3.9%
館 林 市 邑 楽 郡	84 (2)	30 (1)	0 (0)	0 (0)	114 (3)	4.5%
群 馬 大 学	0 (0)	59 (6)	85 (16)	22 (14)	166 (36)	6.6%
計	1,280 (29)	1,053 (55)	92 (18)	106 (60)	2,531 (162)	100.0%
前年同期	1,290	1,055	91	104	2,540	
増 減	-10	-2	1	2	-9	

() の数字は新規入会数

第2表 日本医師会会員数現況表

令和4年1月1日現在

医師会別	区分	A①	A②(B)	A②(C)	B	C	計	総員対比
前橋市		296 (9)	49 (1)	7 (6)	44 (0)	23 (11)	419 (27)	20.0%
高崎市		234 (5)	113 (7)	32 (16)	43 (0)	1 (1)	423 (29)	20.1%
桐生市		116 (1)	69 (3)	0 (0)	12 (0)	0 (0)	197 (4)	9.4%
伊勢崎佐波		129 (2)	65 (2)	0 (0)	69 (7)	0 (0)	263 (11)	12.5%
太田市		128 (3)	29 (1)	0 (0)	13 (1)	0 (0)	170 (5)	8.1%
群馬郡		49 (1)	8 (0)	0 (0)	7 (0)	0 (0)	64 (1)	3.0%
渋川地区		57 (1)	17 (0)	4 (0)	28 (0)	0 (0)	106 (1)	5.0%
藤岡多野		52 (0)	8 (0)	7 (0)	9 (0)	1 (0)	77 (0)	3.7%
富岡市甘楽郡		45 (2)	10 (0)	0 (0)	12 (0)	0 (0)	67 (2)	3.2%
安中市		28 (0)	24 (0)	0 (0)	12 (0)	0 (0)	64 (0)	3.0%
吾妻郡		18 (1)	19 (0)	0 (0)	13 (0)	0 (0)	50 (1)	2.4%
沼田利根		39 (2)	3 (0)	1 (0)	14 (0)	0 (0)	57 (2)	2.7%
館林市邑楽郡		84 (2)	15 (0)	0 (0)	6 (0)	0 (0)	105 (2)	5.0%
群馬大学		0 (0)	1 (0)	0 (0)	15 (0)	22 (8)	38 (8)	1.8%
計		1,275 (29)	430 (14)	51 (22)	297 (8)	47 (20)	2,100 (93)	100.0%
前年同期		1,283	425	42	304	45	2,099	
増減		-8	5	9	-7	2	1	

() の数字は新規入会数

第3表 群馬県医師会敬寿会員数現況表

令和4年1月1日現在

医師会別	区分	A	B	C	合計
前橋市		40	50	0	90
高崎市		35	39	0	74
桐生市		18	21	0	39
伊勢崎佐波		11	6	0	17
太田市		20	9	0	29
群馬郡		5	4	0	9
渋川地区		3	12	0	15
藤岡多野		2	10	0	12
富岡市甘楽郡		8	6	0	14
安中市		3	3	0	6
吾妻郡		1	3	0	4
沼田利根		3	6	0	9
館林市邑楽郡		11	5	0	16
群馬大学		0	4	0	4
計		160	178	0	338

(注) 敬寿会員は76歳以上とする。

第4表 群馬県医師会会費減免状況表

令和3年4月1日から令和4年3月31日

(金額単位：千円)

区分 医師会別	高 齢				疾病その他				研 修 医			専 攻 医		
	A	B	合 計		A	B	合 計		C 2	合 計		C 1	合 計	
	人数	件数	人数	金額	人数	人数	人数	金額	人数	人数	金額	人数	人数	金額
前 橋 市	17	31	48	3,270	0	0	0	0	35	35	272	3	3	36
高 崎 市	14	27	41	2,680	0	0	0	0	33	33	396	1	1	4
桐 生 市	9	11	20	1,630	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
伊勢崎佐波	4	3	7	590	0	0	0	0	0	0	0	2	2	24
太 田 市	6	8	14	1,120	0	2	2	50	0	0	0	0	0	0
群 馬 郡	2	0	2	300	1	0	0	50	0	0	0	0	0	0
渋 川 地 区	3	7	10	410	0	0	0	0	5	5	56	1	1	12
藤岡多野	1	3	4	180	1	0	0	100	13	13	156	0	0	0
富岡市甘楽郡	2	6	8	460	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
安 中 市	1	1	2	180	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
吾 妻 郡	1	0	1	150	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
沼田利根	3	2	5	410	0	0	0	0	1	1	12	1	1	12
館林市邑楽郡	1	2	3	210	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
群馬大学	0	0	1	20	0	0	0	0	22	22	264	17	17	192
合 計	64	101	165	11,610	2	2	2	200	109	109	1,156	25	25	280
總 合 計	304名 13,246千円													

第5表 物故会員氏名 (敬称略)

令和3年4月1日から令和4年3月31日

郡市医師会	物故者氏名	死亡年月日	享年
前 橋 市 医 師 会	小 松 俊 一	令和3年4月19日	74歳
伊勢崎佐波医師会	神 田 洋	令和3年5月6日	77歳
沼田利根医師会	國府田 坦	令和3年5月15日	83歳
富岡市甘楽郡医師会	牧 野 武 雄	令和3年5月23日	74歳
前 橋 市 医 師 会	得 津 雄 司	令和3年5月24日	90歳
伊勢崎佐波医師会	長谷川 昭 衛	令和3年6月19日	94歳
高 崎 市 医 師 会	渡 辺 喬三郎	令和3年7月9日	87歳
渋 川 地 区 医 師 会	菊 地 鐵 郎	令和3年7月11日	83歳
富岡市甘楽郡医師会	井 口 昭 二	令和3年7月23日	94歳
渋 川 地 区 医 師 会	関 口 修五郎	令和3年8月25日	74歳
館林市邑楽郡医師会	江 森 寿 夫	令和3年8月27日	56歳
群 馬 郡 医 師 会	森 田 豊 穂	令和3年9月8日	75歳
藤岡多野医師会	皆 川 百合子	令和3年9月29日	93歳
桐 生 市 医 師 会	崎 田 重 康	令和3年10月12日	91歳
沼田利根医師会	白 井 豊	令和3年10月23日	80歳
渋 川 地 区 医 師 会	船 曳 甫	令和3年10月28日	92歳
前 橋 市 医 師 会	饗 場 庄 一	令和3年10月29日	90歳
藤岡多野医師会	小 屋 淳	令和3年11月1日	77歳
前 橋 市 医 師 会	竹 越 省 一	令和3年11月8日	90歳
太 田 市 医 師 会	北 爪 伸 仁	令和3年11月29日	70歳
前 橋 市 医 師 会	松 山 淳	令和3年12月8日	63歳
前 橋 市 医 師 会	高 橋 統 一	令和4年1月9日	91歳
安 中 市 医 師 会	戸 塚 茂 男	令和4年1月10日	85歳
沼田利根医師会	國府田 稔	令和4年1月22日	65歳
伊勢崎佐波医師会	石 井 朗 子	令和4年1月23日	88歳
桐 生 市 医 師 会	星 野 和 宏	令和4年1月27日	70歳
前 橋 市 医 師 会	山 田 章 之	令和4年1月29日	90歳
前 橋 市 医 師 会	中 嶋 茂 樹	令和4年2月18日	80歳
桐 生 市 医 師 会	菊 地 和 男	令和4年3月14日	95歳
高 崎 市 医 師 会	飯 島 俊 夫	令和4年3月20日	102歳
高 崎 市 医 師 会	水 内 昌 二	令和4年3月30日	96歳

(2) 事業

I 医療従事者資質向上事業

第1. 医療保険対策事業

国民皆保険制度のもと、県民が適切な医療を受けることができるよう医療保険制度に関する事項について検討し、会員への教育・指導・情報提供を行うことにより県民へ安心・安全な医療を提供する。

1. 医療保険委員会

郡市医師会担当理事に対し保険審査に関する取り組み及び今後の方向性等を報告した。

具体的には、令和4年度診療報酬に対する要望項目の検討、群馬県診療報酬審査委員連絡協議会の協議結果、令和3年度関東甲信越医師会連合会医療保険部会の協議内容及び医療保険に関するアンケート結果の報告が行われた。また、新型コロナウイルス感染症の診療報酬上の対応や社保審査におけるAI導入の現況などについて情報提供が行われた。

(1) 第1回

開催日：令和3年4月6日 於：群馬県医師会（WEB開催） 出席者：21名

〈議題〉

- ア. 次期（令和4年度）診療報酬改定に対する要望項目について
- イ. 令和3年度の指導・監査等について
- ウ. 群馬県診療報酬審査委員連絡協議会の協議結果について
- エ. 厚生労働省「オンライン診療を行う医師向けの研修の受講」について

(2) 第2回

開催日：令和3年10月12日 於：群馬県医師会（WEB開催） 出席者：24名

〈議題〉

- ア. 令和3年度 関東甲信越医師会連合会医療保険部会（R3.7.17開催）の報告
- イ. 医療保険指導講習会に関する情報共有と今後について
- ウ. 医療保険に関するアンケート調査について
- エ. その他
 - (ア) 群馬県医師会ホームページ上のコロナ関連臨時的な取扱いについて
 - (イ) 保険審査のコンピューター化に関する情報について

(3) 第3回

開催日：令和4年3月16日 於：群馬県医師会（WEB開催） 出席者：28名

〈議題〉

- ア. 医療保険に関するアンケート結果について
- イ. 群馬県診療報酬審査委員会連絡協議会の協議結果について
- ウ. 新型コロナウイルス感染症への診療報酬上の主な対応について（再周知）
- エ. 審査支払新システムのAI導入について

2. 群馬県診療報酬審査委員会連絡協議会

1回開催され、社保審査委員会及び、国保審査委員会における審査取り扱い上の具体的事案等について検討協議を行い、審査基準の統一を図った。

3. 個別指導

対象医療機関32施設（病院0、診療所32）。関東信越厚生局群馬事務所の依頼により全ての個別指導に県医師会理事が同席し、意見を述べた。

4. 関東甲信越医師会連合会医療保険部会

開催日：令和3年7月17日 於：群馬県医師会（WEB開催）

各都県の医療保険担当理事がWEB会議で出席し、会議では次の検討テーマについて、協議・意見交換が行われた。

(1) 基本診療料における問題点

ア. オンライン診療について

(ア) ニューノーマルにおけるオンライン診療のあり方について

(イ) コロナ禍のオンライン診療の在り方について

イ. 医師事務作業補助体制加算について

(ア) 医師事務作業補助体制加算の評価の充実について

ウ. 救急医療管理加算について

(ア) コロナ禍における「救急医療管理加算Ⅱ」と地域包括ケアシステムの推進について

(2) 特掲診療料における問題点

ア. 特定疾患療養管理料について

(ア) 特定疾患療養管理料について

(イ) 特定疾患療養管理料の算定方法と対象疾患に関する再検討について

(ウ) ウィズコロナ時代の特定疾患の診療について

(エ) 特定疾患療養管理料の算定方法について

イ. J038人工腎臓の導入期加算2について

(ア) J038人工腎臓の導入期加算2の腹膜透析実施要件の変更について

要望：J038人工腎臓の導入期加算2におけるCAPDの要件は、在宅自己腹膜灌流指導管理料の算定数ではなく、腎移植と同様に手続き回数に変更する

ウ. 小児抗菌薬適正使用支援加算について

(ア) 小児抗菌薬適正使用支援加算の算定要件の拡大について

エ. 診療情報提供料について

(ア) 診療情報提供料（Ⅰ）及び（Ⅲ）の適切な評価について

オ. ポリファーマシーについて

(ア) ポリファーマシーの減算に関して

(3) 保険審査上の取扱いにおける問題点

ア. 薬剤の査定について

(ア) 審査上の薬剤における医師の裁量について

(4) その他

ア. アドバンス・ケア・プランニングについて

(ア) アドバンス・ケア・プランニング（ACP）の推進について

イ. コロナ禍の医療・医業経営について

(ア) コロナ禍の医療・医業経営を適正に維持するために

第2. 生涯教育事業

医師は、日進月歩の医学・医療を実践するために、生涯に亘って知見を広げ、技能を磨き、常に自らを研鑽する責務を負っている。県医師会では、日本医師会生涯教育制度に従い、84のカリキュラムコードに対応した講習会・講演会・ワークショップ・学会等を県内で開催した。

群馬県における医師確保対策の取り組みを強化するため群馬県が令和元年10月に立ち上げた「ぐんま総

合医会」の活動の一つとして研修医同士の交流や情報交換の場となる、「群馬県新臨床研修医合同オリエンテーション」の開催を担当している。

1. 学術・生涯教育委員会

開催日：令和3年10月7日 於：群馬県医師会（WEB開催） 出席者：15名
〈議題〉

- (1) 令和2年度生涯教育制度郡市別（診療科目別）単位取得状況について
- (2) 令和2年度生涯教育制度高単位取得者について
- (3) 令和2年度カリキュラムコード実施状況について
- (4) 令和3年度秋季群馬県医学会について
- (5) 令和4年度春季群馬県医学会の開催について

2. 日本医師会生涯教育制度

令和2年度における会員の生涯教育講座出席の記録をシステムにて管理し、一括申告を行った。なお、令和3年4月から令和4年3月までに日本医師会生涯教育制度対象講座として認定・開催した件数は668件であった。

3. 2021年度群馬県新臨床研修医合同オリエンテーション

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

第3. 看護師等充足対策事業

看護師不足を解消するために看護師を志望する者を積極的に公募した。

また、医師会立看護師等養成所の円滑な運営を支援するための施策を実施するとともに情報収集に努め、情報を共有した。さらに、助産師充足対策として、助産師養成の助成を行った。

1. 医師会立看護師等養成所長会議

開催日：令和3年6月22日 於：群馬県医師会（WEB開催） 出席者：61名

- (1) 医務課からの連絡事項
 - ア. 令和3年度主な看護職員確保対策について
 - イ. 令和2年度末看護職員業務従事者届結果について
 - ウ. 令和2年度看護師等資格試験の結果について
 - エ. 看護師等養成所の卒業生就業状況及び入学状況について
 - オ. 群馬県保健師助産師看護師准看護師修学資金について
 - カ. その他
- (2) 群馬県立県民健康科学大学からの連絡事項
- (3) 議事及び情報交換等
 - ア. 地域の現状について（吾妻准看護学校）
 - イ. 医師会立看護師等養成所の運営に関する好事例・課題等について（群馬県医師会）
 - ウ. その他

2. 医療関連職対策委員会

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

3. 高看担当者会議

開催日：令和4年2月17日 於：群馬県医師会（WEB開催） 出席者：15名

- (1) 令和5年度入学試験の日程について
- (2) 入学状況及び卒業生進学・就業状況について
- (3) 国家試験対策について

- (4) 学校運営について
- (5) 令和4年度医師会立看護師等養成所長会議の開催について
- (6) その他

4. 准看担当学会議

開催日：令和4年2月17日 於：群馬県医師会（WEB開催） 出席者：18名

- (1) 生徒募集について
- (2) 入学試験及び応募状況について
- (3) 入学状況及び卒業生進学・就業状況について
- (4) 准看護師検定試験対策について
- (5) 学校運営について
- (6) 令和4年度医師会立看護師等養成所長会議の開催について
- (7) その他

5. 准看護師生徒募集

- (1) 准看護師生徒募集ポスター

前橋准看護学校の協力のもと作製し、会員及び関係機関へ配布した。

- (2) 生徒募集広告

上毛新聞（令和3年10月9日掲載）に各学校の入試日程を記載した広告を掲載し周知徹底を図った。

6. 高看入試問題

医師会立看護師養成所2年課程の入学試験は、同日に統一問題にて実施している。入試問題の作成にあたっては、当番校を中心に「入試問題検討会」を2回実施した。

7. 群馬県医師会長賞

医師会立看護師等養成所の卒業生のうち各養成所から推薦された15名の優秀者に「群馬県医師会長賞」として賞状及び記念品を授与した。

8. 助産師養成について

群馬県における周産期医療崩壊を食い止める一助として開設した高崎市医師会看護専門学校助産学科の運営支援のため、各都市医師会の協力を得て助成を行った。卒業生は、県内各所の周産期医療現場に就業し、第一線で活躍している。

9. 日本医師会認定医療秘書養成への支援

近年の医療事務の情報処理高度化に対応できる人材育成を行い、チーム医療を確保するため、日本医師会認定医療秘書養成の支援を行った。

- (1) 支援先への医療秘書講義に対する講師7名の派遣。

新型コロナウイルス感染症の対策のため、対面での講義に係る講師派遣8回、WEBでの講義6回、課題提出1回、計15回の講義を実施した。

第4. 介護保険・主治医研修事業

介護保険制度における主治医の役割を理解するとともに、要介護認定及び要支援認定における審査判定の重要な資料となる主治医意見書の記載が適切に行われるよう、令和3年度は群馬県との共催により本会で主治医研修会を開催した。

介護保険委員会では、都市医師会相互の情報伝達、情報交換等を図った。

外部の会議では、関東甲信越医師会連合会介護保険部会に参加した。

また、感染症対策に関する内容（肺炎、尿路感染症、带状疱疹、蜂窩織炎に関する標準的な検査・診断・治療等及び抗菌薬等の適正使用、薬剤耐性菌）を含む研修として高齢者の感染症に関する研修会を開催した。

1. 主治医研修会

開催日：令和4年1月13日 於：群馬県医師会（ハイブリッド開催） 出席者：97名

(1) 行政説明

演題：「主治医意見書について」

講師：群馬県健康福祉部介護高齢課 企画・介護保険係 係長 狩野貴男

(2) 研修

演題：「かかりつけ医のための介護保険の知識主治医意見書の書き方」

講師：群馬県医師会介護保険担当理事 土岐文彰 先生

2. 関東甲信越医師会連合会介護保険部会

開催日：令和3年7月17日 於：群馬県医師会（WEB開催） 出席者：45名

〈議題〉

(1) 介護人材確保

ア. 介護現場の労働力不足について

イ. 看護職人材不足に関して 一准看護師養成所の問題一

ウ. 介護施設における介護士の「介護技術の向上」に着眼した介護報酬について

エ. LIFE（科学的介護情報システム）におけるリハビリ専門職配置の問題点

(2) 介護保険の未来

ア. 介護保険財源不足の問題点について

イ. 介護認定審査会等のオンライン化の進展について

ウ. 「科学的介護情報システム（LIFE）」導入に係る ICT 導入支援事業の活用について

エ. コロナ禍後の介護保険制度の行方について

3. 介護保険委員会

(1) 第1回

開催日：令和3年7月27日 於：群馬県医師会（WEB開催） 出席者：17名

〈検討事項〉

ア. 令和3年度関東甲信越医師会連合会介護保険・地域包括ケア部会の報告について

イ. 令和2年度の群馬県地域医療介護連携感染症対策事業費の報告について

ウ. 今回の介護報酬改定について（LIFEの説明会、現在各都市での問題点等）

エ. 令和3年度主治医研修会の開催について

(2) 第2回

開催日：令和4年3月11日 於：群馬県医師会（WEB開催） 出席者：14名

〈検討事項〉

ア. 令和3年度関東甲信越医師会連合会介護保険・地域包括ケア部会の検討テーマについて

イ. 令和4年度関東甲信越医師会連合会介護保険・地域包括ケア部会の検討テーマの提出について

ウ. 介護施設での困難事例

4. 高齢者の感染症に関する研修会

開催日：令和3年4月21日 於：群馬県医師会（ハイブリッド開催） 出席者：107名

演題：「高齢者の感染症の診断と治療」

講師：群馬大学医学部附属病院 感染制御部長・診療教授 徳江 豊 先生

第5. 産業衛生対策事業

1. 産業医研修会の開催

日本医師会認定産業医制度実施要領に基づき、指定カリキュラムの様々な研修会を県医師会主催、郡市医

師会等との共催により実施した。

(1) 基礎前期研修会

開催日：令和3年9月19日・20日 於：群馬県医師会 出席者：18名

(2) 群馬県メンタルヘルスケア研修会

開催日：令和4年3月10日 於：群馬県公社総合ビル 出席者：63名

演題：「ウィズコロナ時代のメンタルヘルス不調対策を考える」

講師：群馬大学健康支援総合センター 副センター長・教授 竹内一夫 先生

(3) 産業医実地研修会

ア. 作業環境測定実習

イ. 職場巡視

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

(4) 郡市医師会等との共催

実施回数：49回

2. 産業医申請手続き

産業医は「厚生労働省令で定める一定の要件を備えた者でなければならない」と労働安全衛生法で定められており、日本医師会産業医学基礎研修会修了者はこれに該当する。日本医師会認定産業医の申請は都道府県医師会を通じて日本医師会へ届出を行うため、令和3年度は新規19名、更新105名の申請手続きを行った。

3. 産業保健に関する会議等への出席

(1) 全国医師会産業医部会連絡協議会

開催日：令和3年10月21日 於：日本医師会（テレビ会議システム利用）

第6. 労災・自賠責保険対策事業

労災指定医療機関は、労災診療費の仕組みを理解し、労災診療費算定基準の適正な労災医療費の請求をしなければならない。労働者の業務上の災害並びに通勤災害による疾病・障害・死亡等に対して迅速かつ公正に保護するため、必要な保険給付を行う。併せて、労働者の早期社会復帰の促進、当該労働者及びその遺族の援護、労働者の安全及び衛生の確保等を図り、もって労働者の福祉の増進に寄与することを目的として、県医師会では労災・自賠責保険における各種情報収集・解析、審査基準・疑義解釈等を検討し、会員に向け周知を行った。

1. 自動車保険医療連絡協議会

年間9回開催

2. 労災保険医療説明会

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

3. 自賠責保険研修会

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため日本損害保険協会より講演動画を配信

(1) 学術講習

演題：「最近の交通事故診療について」

講師：日本医師会 常任理事 長島公之 先生

(2) 自賠責講習

演題：「自賠責保険（共済）のしくみ」

講師：損害保険料率算出機構自賠責損害調査センター 深澤 泰 先生

第7. 救急・災害医療対策事業

救急・災害対策事業については医療機関・群馬県・消防機関・その他関係する機関等と連携を図りながら救急医療に積極的な取り組みを行い、県民の安心・安全な生活に寄与した。

大規模災害発生時には迅速に災害医療体制を立ち上げ、整備を図り、災害対策基本法に基づき群馬県と指定地方公共機関が締結した「災害時の医療救護活動についての協定」、関東甲信越医師会との「大規模災害発生時における医療救護活動の確保に関する協定」に従い、災害発生時における救護所等への救護班の派遣等を行う。県医師会では救急災害が発生した場合、速やかに「群馬県医師会被災地医療支援実施本部」を設置することとしている。

平成29年度より開始した「五師会災害研修」については、令和2年度に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。

また、平成30年度より開始された「日本医師会 JMAT 研修」では、基本編、ロジスティクス編をそれぞれ受講した。

1. 救急・災害医療対策委員会

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面開催

〈議題〉

- (1) 令和3年度関東甲信越医師会連合会救急災害部会の報告について
- (2) 令和4年度五師会災害研修日程案について

2. 「救急の日」記念行事

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため講演動画を配信

演題：「群馬県における精神科三次救急の現状」

講師：群馬県立精神医療センター 院長 赤田卓志朗 先生

演題：「新型コロナウイルス感染拡大経過と消防の対応」

講師：渋川広域消防本部 係長代理（消防士長） 稲葉佑一郎 先生

3. 群馬県救急医療懇談会

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

4. 五師会災害研修

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

5. 関東甲信越医師会連合会救急災害部会

開催日：令和3年11月13日 於：群馬県医師会（WEB開催）

〈議題〉

（救急関係）

- (1)-1 新型コロナウイルス感染症流行拡大下の救急医療 ～自宅療養中・入院待機中の新型コロナウイルス陽性者の救急搬送～
 - (1)-2 コロナ禍におけるコロナ患者の救急搬送の問題点
 - (2) 自宅療養及び宿泊療養を継続する新型コロナウイルス感染者の医療支援について
 - (3) 病院救急車の活用事業の問題点について
 - (4) 新型コロナウイルス感染爆発時における救急医療体制の確保について
- （災害関係）
- (5) 新型コロナウイルス感染拡大による避難所における感染防御について
 - (6) 避難所における新型コロナウイルス感染症への対応等について
 - (7) 災害時における医療資源確保のための指揮系統について

(紙上報告)

- (8) コロナ禍で開催された東京2020大会期間中のMCI対応について
- (9) 大規模災害時における外国人への対応について
- (10) 災害対策基本法等の一部を改正する法律の施行に伴う個別避難計画の作成について
- (11) 災害発生危険地域の行政と医師会の情報共有について

6. 日本医師会 JMAT 研修

- (1) ロジスティクス編
開催日：令和4年1月30日 於：群馬県医師会（WEB開催）
- (2) 基本編
開催日：令和4年3月13日 於：群馬県医師会（WEB開催）

第8. 群馬県医学会事業

1. 群馬県医学会

- (1) 春季群馬県医学会
開催日：令和3年6月25日 於：群馬県医師会（WEB開催） 出席者：69名
演題：「神経再生医療の現状と展望」
講師：札幌医科大学医学部附属フロンティア医学研究所神経再生医療学部門教授 本望 修 先生
- (2) 秋季群馬県医学会
開催日：令和3年12月4日 於：群馬県医師会（WEB開催） 出席者：91名
研究発表：当日発表10題・誌上发表29題
ぐんまレジデントグランプリ2021グランプリ受賞者による発表
令和2年度生涯教育制度高単位取得者の表彰
〈特別講演〉
演題：「新型コロナウイルスの多種変異株感染を防御できる
ヒト・スーパー中和抗体作出の意義とその展望」
講師：富山大学理事・副学長 北島 勲 先生

2. 「群馬医学」雑誌

111号（特別講演号）を2,970部、113号（特別講演号）を2,960部、114号（一般講演号）を2,980部作成し、会員並びに関係先へ配布した。

第9. がん対策事業

群馬県からの委託事業として、「健康診査管理指導等事業実施のための指針」に基づき、がん検診に従事する医師等の技術向上を図る目的で、最新の医療情報を提供するため講習会を開催した。同様に群馬県からの委託事業として、がん検診受診体制を整備する目的で、医療機関への調査を実施した。

群馬県がん登録事業では、群馬県がん対策推進条例に基づいた事業の実施に協力し、また広報活動を支援するとともに多くのがん情報収集の推進に努めた。

また、がん対策に関する多くの会議・協議会に出席し関係機関と連携を図った。

令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ハイブリッド方式（WEB視聴と会場視聴）で講習会を開催した

1. がん検診等従事者講習会

- (1) 胃内視鏡検診従事者講習会
ア. 開催日：令和4年2月5日 於：高崎市総合保健センター 出席者：27名

演題：「症例検討 ―内視鏡を中心に―」

講師：群馬県健康づくり財団診療所院長 茂木文孝 先生

イ. 開催日：令和4年2月25日 於：太田市医師会 大講堂 出席者：19名

演題：「内視鏡検診発見症例の検討」

講師：群馬県健康づくり財団診療所院長 茂木文孝 先生

ウ. 開催日：令和4年3月26日 於：群馬県医師会 出席者：54名

シンポジウム

テーマ：「群馬県の胃内視鏡検診の現状と課題」

シンポジスト：まろ医院 院長 中嶋秀磨 先生

たなか内科消化器科クリニック 院長 田中 大 先生

渋川医療センター 特命副院長 棚橋美文 先生

光病院 濱田邦弘 先生

くろさわ医院 院長 水原裕治 先生

内田病院 副院長 田中秀典 先生

特別講演

演題：「より良い内視鏡検診のために ～これからの胃がん対策～」

講師：京都第二赤十字病院健診部

京都府医師会消化器がん検診委員会副院長 小林正夫 先生

(2) 大腸がん検診従事者講習会

開催日：令和4年3月22日 於：群馬県医師会 出席者：25名

演題：「大腸がん検診の科学的根拠と精度管理」

講師：青森県立中央病院医療顧問 青森県がん検診管理指導監 斎藤 博 先生

(3) 肺がん検診読影従事者講習会

開催日：令和4年2月9日 於：群馬県医師会 出席者：72名

演題：「胸部X線写真の読影 ―肺がん検診の注意と限界―」

講師：高崎市医師会 理事 土屋 智 先生

(4) がん細胞診・組織診従事者講習会

開催日：令和3年7月3日 於：WEB開催 53名

演題：「WHO 第5版における子宮頸癌 ―何が変わったのか」

講師：東京慈恵医科大学病理学講座・同附属病院 病院病理部 教授 清川貴子 先生

演題：「中皮腫診断2021update・細胞診診断はより重要となる」

講師：福岡大学医学部 病理学講座 主任教授 鍋島一樹 先生

開催日：令和4年2月5日 於：WEB開催 46名

演題：「沖縄と群馬大学での細胞診教育の経験から見える

細胞検査士及び細胞診専門医資格取得のためのポイント」

講師：群馬大学大学院保健学研究生体情報検査科学講座 教授 齊尾征直 先生

(5) 子宮がん検診細胞診従事者講習会

開催日：令和4年2月16日 於：群馬県医師会 出席者：37名

演題：「今、改めて知っておきたい子宮頸がん検診と HPV ワクチン～

積極的勧奨再開とキャッチ UP 接種開始に備えて」

講師：公立学校共済組合関東中央病院 産婦人科医長 稲葉可奈子 先生

(6) 乳がん検診従事者講習会

開催日：令和3年10月18日 於：群馬県医師会 出席者：25名

演題：「乳がん検診の現状と問題点」

講師：渋川医療センター特命診療顧問 横江隆夫 先生

(7) 胃がん検診読影従事者講習会

開催日：令和3年11月2日 於：群馬県医師会 出席者：67名

演題：「X線胃がん検診発見症例の検討」

講師：群馬県健康づくり財団診療所院長 茂木文孝 先生

2. がん検診受診体制整備事業

県内市町村で実施するがん検診の精密検査の内、最も受診率の低い大腸がん検診精密検査の受診率向上を図ることを目的とし、大腸がん検診受診体制の実情について調査を行った。調査結果は、群馬県ホームページに大腸がん検診の精密検査に対応している医療機関リストとして掲載している。

第10. 老人保健・認知症対策事業

高齢者が日頃から受診する医療機関の主治医を対象に、適切な認知症の診療の知識や技術、認知症患者とその家族を支える方法等を習得するための研修会を群馬県との共催で開催した。

一方、特定健診・特定保健指導については健診の相互乗り入れと健診項目及び料金の統一に向け、郡市医師会を通じて市町村国保の集合契約への参加を呼びかけた。

1. 認知症専門医及び認知症サポート医フォローアップ研修

開催日：令和4年2月27日 於：群馬県庁及びWEB開催 出席者：54名（医師）

演題：「認知症疾患医療センターにおける診断後等支援機能の取り組みについて」

講師：認知症疾患医療センター老年病研究所附属病院 精神保健福祉士 野中和英 先生

演題：「認知症の人とのかかわりを再考する ～診断から診断後支援まで」

講師：脳と心の石原クリニック 院長 石原哲郎 先生

2. かかりつけ医認知症対応力向上研修

開催日：令和4年3月20日 於：群馬県庁及びWEB開催 出席者：29名（医師）

演題：「かかりつけ医の役割編」

講師：しおじまクリニック 塩島正之 先生

演題：「基礎知識編」

講師：小林クリニック 小林信一 先生

演題：「診療における実践編」

講師：恵愛堂病院 東郷 望 先生

演題：「地域・生活における実践編」

講師：小沢医院 小澤聖史 先生

3. 認知症サポート医養成研修事業

厚生労働省が実施する「認知症サポート医養成研修事業」には、認知症に関する地域の牽引役になっていただけの医師22名を推薦し、受講いただいた。研修を修了した医師には、今後地域においてかかりつけ医を対象とした認知症対応力の向上を図るための研修の企画立案、かかりつけ医の認知症診断等に関する相談役、アドバイザーとなる他、認知症サポート医（推進医師）との連携体制の構築、各地域医師会と地域包括支援センターとの連携づくりへの協力の役割を担っていただく。

第11. スポーツ医事業

1. 研修会開催

日本医師会認定健康スポーツ医制度の実施要領に基づき、他団体と共催で健康スポーツ医を対象に更新研修会を開催した。

- (1) 開催日：令和3年4月17日 於：群馬大学医学部附属病院アメニティー講義室
講演：演題：「心肺運動負荷試験について」
講師：群馬県立心臓血管センター 副院長 安達 仁 先生
演題：「金メダリスト・小平奈緒の成長を支えて ～スポーツ医・科学を活用したコーチング実践～」
講師：信州大学教育学部 教授 結城匡啓 先生
共催：群馬県スポーツ協会
- (2) 開催日：令和4年3月17日 於：桐生メディカルセンター
演題：「『どれくらい動いていいですか?』、心臓からの考え方」
講師：群馬県立心臓血管センター 副院長 安達 仁 先生
共催：桐生市医師会

2. 申請手続き

日本医師会認定健康スポーツ医の新規・更新手続きを行った。

令和3年度対象者：新規1名 更新17名

第12. 緩和ケア対策事業

「がん対策基本法」の基本的施策の一つに「がん医療の均霑化の促進等」が定められており、「がん対策推進基本計画」においては、重点的に取り組むべき課題として「治療の初期段階からの緩和ケアの実施」が掲げられ、「すべてのがん診療に携わる医師が研修等により、緩和ケアについての基本的な知識を習得すること」が個別目標として明記されている。「がんと診断された時からの緩和ケアの推進」を図ることを目的に、これまでに「がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会開催指針」に基づく緩和ケア研修会を受講した医師等を対象に、フォローアップ研修会を開催している。令和3年度はWEBで開催した。

令和3年度緩和ケアフォローアップ研修会

開催日：令和3年12月5日 於：WEB開催 出席者：8名

第13. 勤務医対策・女性医師支援事業

女性医師に対する育児支援等で離職を防ぎ、県内における医師確保を進めることや、家庭と仕事の両立ができるように医師の就労環境を整備していくには、男女共同参画とワークライフバランスの理解や周知が不可欠である。それらを目的に、医学生・研修医等をサポートするための会を開催した。また、勤務医委員会を開催し、医師の働き方改革を中心とした、勤務医に関わる情報の伝達・交換、問題点の議論を行った。

1. 勤務医委員会

開催日：令和3年8月5日 於：群馬県医師会（WEB開催）出席者：18名

〈議事〉

- (1) 令和3年度都道府県医師会勤務医担当事務連絡協議会（令和3年5月21日開催）の報告について
- (2) 宿日直関係資料について
- (3) 医師の労働時間短縮の取組の分析・評価のための「評価機能」（仮称）の設置準備事業について
- (4) 群馬大学医学部附属病院の、B・連携B水準、C-1・C-2水準に対する考え方、対応について
- (5) 令和3年度全国医師会勤務医部会連絡協議会の開催について

2. 医学生・研修医等をサポートするための会

開催日：令和3年12月7日 於：群馬大学医学部記念会館刀城会館（ハイブリッド開催） 出席：150名
〈プログラム〉

(1) 講演

演題：「小さいヒトが小さいネズミを作った話」

講師：東北大学大学院医学系研究科 附属創生応用医学研究センター

がん医学コアセンター 細胞増殖制御分野 教授 中山啓子 先生

2. 勤務医・女性医師支援に関する協議会等への出席

(1) 令和3年度都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会

開催日：令和3年5月21日 於：日本医師会（WEB開催）

テーマ：「医師の働き方改革について、新型コロナウイルス禍における勤務医の勤務環境の問題点について」

(2) 第16回男女共同参画フォーラム

開催日：令和3年5月15日 於：ホテル日航大分オアシスタワー

テーマ：「医療人を育む一歩から ～医師の多様な働き方について～」

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため延期

(3) 令和3年度女性医師支援ドクターバンク連携 関東甲信越・東京ブロック会議

開催日：令和3年9月11日 於：パレスホテル大宮（WEB開催）

内容：「女性医師支援センターの事業報告及び各都県医師会のドクターバンクの状況・復職・再研修支援体制・女性医師のキャリアアップ支援体制についての発表」

(4) 令和3年度全国医師会勤務医部会連絡協議会

開催日：令和3年10月2日 於：ホテルグランヴィア京都（WEB開催）

テーマ：「勤務医とともに歩む医師会の覚悟 ～医師会が守るべきもの、変えるべきもの～」

(5) 令和3年度女性医師支援担当者連絡会

開催日：令和3年12月5日 於：日本医師会（WEB開催）

内容：「女性医師の働き方やキャリア支援等について、日本医師会や各団体からの報告・取り組みの紹介」

第14. 医師会病院事業

リハビリテーション専門病院として、機能の充実を図るとともに、医師、療法士、看護師等の技術の向上とその育成、さらに患者の立場に立った魅力ある・選ばれる病院を目指し管理運営に取り組んだ。そして、「病院あり方検討委員会」からの病院移転が望ましいとの答申を受け、引き続き移転について「院内病院あり方検討委員会」にて協議を重ねた。

また、中之条町から委託された業務「中之条町介護老人保健施設 ゆうあい荘」の管理運営を円滑に進め、医療・介護ともに質の向上と人材育成に力を注いだ。

1. 入院の状況

(1) 令和3年度の新規入院患者は523名、前年度に比べ40名の減であった。

(2) 年齢は70歳以上68.3%、60歳代14.2%、50歳代10.5%、その他の年代が7.0%である。

(3) 病類別は循環器系が全体の39.6%、筋骨格系が22.7%、その他の疾病は37.7%である（詳細は表2の資料のとおり）。

2. 病院運営

毎月の定例会長会議後に病院運営委員会を開催しており、また、県医師会理事会においても毎月2回の協

議をもっている。

3. 職員の状況（令和4年3月31日現在：非常勤・パート除く）

(1) 医師	8名	(3) 看護部門	
(2) 診療部門		看護師関係	103名
薬剤師	2名	(4) リハビリ部門	
放射線技師	1名	リハビリ関係	106名
臨床検査技師	3名	(5) 事務部門	
管理栄養士	5名	事務関係	28名
事務関係	10名	(6) 老健部門	
		老健施設関係	59名
合計		325名	

4. 令和3年度看護師、療法士等の採用状況並びに異動状況

新規学卒採用者		異動者（県内他施設へ就職）	
看護師	3名	看護師	0名
准看護師	0名	准看護師	0名
PT	3名	PT	2名
OT	4名	OT	2名
ST	1名	ST	0名
合計 11名		合計 4名	

5. 看護及びリハビリ関係研修生受け入れ状況

看護：専門学校2校から15名の研修生を受け入れた。

リハビリ：大学8校、専門学校3校からPT9名、OT12名、ST3名合計24名の研修生を受け入れた。
（新型コロナウイルス感染症対策として、例年に比べ受け入れ人数を減らして対応した。）

6. 受託事業の現況

(1) 介護老人保健施設受託業務

「中之条町介護老人保健施設 ゆうあい荘」の施設療養業務は、群馬リハビリテーション病院から出向した59名の人員により運営されている。

令和3年度の新規入所者数は71名で、1日平均の在所要者数は86.0名であった。デイケアは1日平均21.18名の利用者があった。

施設規模は、入所定員100名（一般棟50名、認知専門棟50名）、通所定員30名である。

令和3年度〔群馬リハビリテーション病院〕入院患者の状況

表1 地区別入院患者数

郡市別	計	%
前 橋	53	10.1
高 崎	49	9.4
桐 生	4	0.8
伊 勢 崎	9	1.7
太 田	9	1.7
沼 田	30	5.7
館 林	0	0.0
渋 川	42	8.0
藤 岡	6	1.2
富 岡	9	1.7
安 中	13	2.5
み どり	2	0.4
佐 波	3	0.6
北 群 馬	8	1.5
多 野	0	0.0
甘 楽	4	0.8
吾 妻	245	46.8
利 根	19	3.6
邑 楽	2	0.4
県 外	16	3.1
合 計	523	100.0

※県外別入院患者数

都 県 別	計	%
東 京	1	6.2
埼 玉	12	75.1
栃 木	0	0.0
神 奈 川	0	0.0
千 葉	1	6.2
茨 城	0	0.0
そ の 他 青森1 新潟1	2	12.5
合 計	16	100.0

表2 病類別入院患者数

病類別	計	%
0 神経系、感覚器疾患	15	2.9
1 循環系疾患（2を除く）	1	0.2
2（同上）脳血管疾患	206	39.4
3 呼吸系疾患	1	0.2
4 消化系疾患	0	0.0
5 筋骨格系結合組織疾患 （6を除く）	119	22.7
6（同上）リウマチ性疾患	0	0.0
7 損 傷	172	32.9
8 そ の 他	9	1.7
合 計	523	100.0

〔ICD分類による〕

表3 性別・年齢別入院患者数

年 齢 層	男	女	計	%
9 歳 以下	0	0	0	0.0
10歳～19歳	2	1	3	0.6
20歳～29歳	6	2	8	1.5
30歳～39歳	7	1	8	1.5
40歳～49歳	10	8	18	3.4
50歳～59歳	42	13	55	10.5
60歳～69歳	39	35	74	14.2
70歳～79歳	77	66	143	27.4
80 歳 以上	74	140	214	40.9
合 計	257	266	523	100.0

II 地域保健医療推進の向上を目的とする事業

第1. 感染症・予防接種対策事業

感染症への対応は、情報の迅速な伝達、関係者相互の情報共有が重要である。国及び日本医師会からの最新の感染症情報を速やかに医療機関に伝えることは、感染症の流行を最小限に止めるために重要であり、県医師会ではメーリングリスト等を活用し迅速な情報提供に努めている。

令和元年12月に中華人民共和国湖北省武漢市で発生した新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は瞬く間に世界中に広がり、これまで世界各地で流行の波を繰り返してきた。発生から2年以上が経過する現在においても未だ収束する気配は見えていない。県医師会では、本県における感染拡大による医療崩壊を防ぐべく、群馬県との連携を密にし、県医師会感染症・予防接種対策メーリングリスト等を活用し迅速な情報提供を図るとともに、各地域における医療体制の構築に努めた。

また、新型コロナウイルス感染症の切り札となっているワクチン接種については、接種業務に従事する関係者の情報共有が重要であることから、度重なる国の方針変更に伴う現場の混乱を避けるべく、新型コロナウイルスワクチン関係の通知等に関しては「新型コロナウイルスワクチン第〇報」として郡市医師会へ周知を行い、情報共有に努めた。さらに令和3年1月より郡市医師会担当理事を対象としたワクチン説明会をオンラインにより開催し、最新の情報伝達を第一に努めてきたところである。今後も更なる流行拡大への対応、円滑なワクチン接種体制の構築に努めるべく、日本医師会並びに郡市医師会や群馬県との連携のもと対策を推進していく所存である。

1. 新型コロナウイルス感染症対策

(1) 感染症・予防接種対策委員会

開催日：令和3年11月18日 於：群馬県医師会 出席者：20名

〈議題〉

ア. 新型コロナウイルス感染症の現状と再拡大に備えて

- ・群馬県医師会の取り組みについて
- ・群馬県からの説明
- ・郡市医師会からのご意見、ご要望について

(2) 新型コロナウイルス感染症に係る行政検査の集合契約

新型コロナウイルス感染症に係る行政検査（PCR検査及び抗原検査）の集合契約事務手続きについて、郡市医師会の協力のもと実施医療機関の取りまとめを行い契約を締結、集合契約締結後の実施医療機関の更新についても定期的に実施している。

(3) 郡市医師会を対象とした新型コロナウイルス感染症に関するアンケート調査の実施

ア. ゴールデンウィークに向けた医療提供体制の確保に関する対応について

(令和3年4月実施)

イ. 新型コロナウイルス感染症の自宅療養中の患者への対応に関するアンケート調査

(令和3年8月実施)

ウ. 年末年始に向けた医療提供体制の確保に関する対応についてのアンケート調査

(令和3年12月実施)

(4) 宿泊療養施設への医師派遣

新型コロナウイルス感染者の増加に伴う病院の負担の軽減並びに空き病床を確保するため、郡市医師会ご協力のもと宿泊療養施設（前橋ホテル、ドーミーイン前橋、ホテル東横イン高崎、同伊勢崎、同太田、ルートイン伊勢崎インター、同太田南）に入居する軽症者、無症状者の健康管理を行う医師を派遣した。

(5) 郡市医師会担当理事対象新型コロナウイルスワクチンに関する説明会（WEB開催、動画配信）

令和3年4月より令和4年3月までの間で計22回、郡市医師会担当理事を対象にオンラインにより説明会を開催した。「新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業」を全体のテーマとし、各開催時期の課題や国の情報に関して群馬県の担当者により説明、質問事項に関しては説明会後に受付け、その後Q&Aとして情報提供を行うことにより関係者相互の情報共有に努めた。さらに本年3月以降は定期的に動画配信を行う形式に変更し、説明会は現在においても継続して開催している。

(6) 県営ワクチン接種センターへの医師派遣の協力

群馬県がGメッセ高崎に設置した県営ワクチン接種センターへの医師派遣について協力を行った。令和3年度においては1、2回目接種として令和3年7月～9月、3回目接種として令和4年2月～3月の5ヶ月間で、延べ572名の医師を派遣し、本県の接種率向上に貢献した。

(7) 新型コロナウイルス感染症、ワクチン接種に関する集合契約の締結

ア. 新型コロナウイルス感染症に係る行政検査（PCR検査及び抗原検査）の委託契約

イ. 新型コロナウイルス感染症に係る予防接種に関する集合契約

(8) 都道府県医師会新型コロナウイルス感染症担当理事連絡協議会

令和3年4月より令和4年3月までの間で計10回、日本医師会主催によりテレビ会議システムを用いて開催された担当理事連絡協議会に参加した。新型コロナウイルス感染症や新型コロナウイルスワクチンに関する多くの情報や喫緊の課題等について集約するとともに、医療現場での問題点等について意見することにより、新型コロナウイルス感染症に立ち向かう医療従事者の処遇改善に努めた。連絡協議会については現在においても継続して開催されている。

2. 感染症発生動向調査

会員の協力のもと、感染症発生動向調査における全数把握と定点把握調査について報告を行い、県において取りまとめられた調査結果について、郡市医師会長会議及び県医師会ホームページを通じて会員に情報提供することにより、感染症の発生動向把握の一翼を担っている。

3. 流行性疾患患者通報業務

群馬県からの受託事業として、全会員の協力のもと麻しん及び風しん疑い患者を診察した場合には、所属郡市医師会を通じ県医師会へ報告をいただいている。会員からの報告については県医師会で取りまとめ、週1回のペースで県に報告するとともに、県医師会ホームページを通じて会員へ情報提供を行っている。この事業により麻しん・風しんの流行を迅速に察知し、早期に対応できるよう体制づくりがなされており、医療現場の臨床に役立つよう努めた。

4. 風しん抗体検査事業

風しんの感染予防やまん延防止のために、予防接種が必要である風しん感受性者を効率的に抽出するとともに、県民の風しん予防に対する意識の向上を図ることを目的として、平成26年度より群馬県並びに前橋市、高崎市において本事業が実施されている。令和3年度においても本会では前記三者と委託契約を締結し、県内相互乗り入れでの事業実施に努めた。

5. 風しんの追加的対策事業

風しんの発生状況等を踏まえ、風しんの感染拡大防止を目的として、現行の対策に加え、平成31年～令和3年度末までの約3年間をかけ、特に抗体保有率が低い現在39歳～56歳（昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれ）の男性を対象に、全国で原則無料にて抗体検査及び予防接種を行う事業が行われている。本会では、日本医師会並びに群馬県からの情報等について郡市医師会との情報共有に努めるとともに、全国の市町村が全国の医療機関・健診機関に対して本事業の実施を委託する集合契約に関する協力医療機関の取りまとめを行い契約を締結した。集合契約締結後の実施医療機関の更新についても定期的実施している。

6. 群馬県内相互乗り入れ予防接種

(1) 群馬県内相互乗り入れ予防接種（定期）

定期予防接種の対象ワクチンについて、住所地市町村外における接種を円滑に実施し、住民の利便性を図ることを目的に平成15年度より県医師会長と県内市町村長の契約のもと本事業を実施している。令和3年度における相互乗り入れ予防接種協力医療機関は1,166件、接種実施数は38,652件であった。

(2) 群馬県内相互乗り入れ行政措置予防接種

「群馬県内相互乗り入れ行政措置予防接種実施要領」を定めることにより、任意予防接種についても被接種者並びに接種医師が安心して予防接種業務を実施できる体制の確保に努めた。

第2. 群馬県地域医療介護連携感染予防・対策事業

高齢者施設等における新型コロナウイルス感染症のクラスターについては、死亡者や感染者の規模が大きく、高齢者施設等における感染症予防・対策の徹底が極めて重要である。

本会では、地域において医療と介護との連携により、高齢者施設等における感染症の拡大をあらかじめ防止し、その対策を講ずるため、郡市医師会が中心となって感染症の専門知識を有する者を高齢者施設等に派遣する等の取り組みを支援した。

1. 令和3年度群馬県感染症予防・対策研修会

開催日：令和3年7月5日 於：群馬県医師会（WEB開催） 出席者：192名

演題：「コロナウイルスの基礎から新型コロナウイルスの今後について」

講師：群馬大学大学院医学系研究科生体防御学分野 神谷 亘 先生

演題：「コロナウイルスの最近の話題、ワクチン、治療薬について」

講師：北海道大学 人獣共通感染症国際共同研究所 シオノギ抗ウイルス薬研究部門
客員教授 佐藤彰彦 先生

2. 郡市医師会の依頼を受け、高齢者施設等へ感染症対策連絡協議会員等の派遣調整補助

事業全体の派遣人数（延べ）112件中、感染症対策連絡協議会員の派遣53件を調整

3. 高齢者施設へ感染症対策連絡協議会員等を派遣

事業全体の派遣人数（延べ）112件中、感染症対策連絡協議会員の派遣19件を実施

第3. 精度管理事業

臨床検査精度管理事業は群馬県臨床検査精度管理協議会が実施主体となり事業を実施している（協議会は県医師会、群馬県、群馬県臨床検査技師会、群馬大学で構成）。

令和3年度（第36回）群馬県臨床検査精度管理調査は、289施設の参加を得た。実施項目は一般、血液、臨床化学、免疫血清、微生物、輸血、細胞診、生理機能の8項目であった。

9月下旬に検体を配布し、各施設で検査を実施した。回答を回収した後、データの解析・評価を行い、年度末に報告会を開催した。

また、検査の施設間差是正を目的とした臨床検査値標準化事業を実施しており、令和3年度は8項目（AST、ALT、LD、ALP、CK、 γ -GTP、AMY、ChE）、コリンエステラーゼ、総コレステロール、中性脂肪と特定健診の項目のHDL-コレステロール並びにLDL-コレステロール、を対象項目に標準化事業を群馬大学の協力のもと行った。

1. 会議等の開催

(1) 協議会 開催日：令和3年6月15日 於：WEB開催 出席者：9名

(2) 第1回打合せ 開催日：令和3年5月25日 於：WEB開催 出席者：6名

第2回打合せ 開催日：令和3年12月13日 於：群馬県医師会 出席者：7名

(3) 報告会 開催日：令和4年3月1日 於：WEB開催 出席者：86名

第4. 学校保健対策事業

学校医が学校保健活動を円滑に進めるためには、多様化する様々な問題に対応しなければならない。そのために県医師会では関係機関と連携を図り、下記のとおり事業を展開した。

1. 学校保健委員会（書面会議）

〈議題〉

- (1) 令和3年度群馬県学校医会総会について
- (2) 第70回群馬県学校医研究大会（令和4年度）における研究発表について

2. 児童・生徒腎臓検診判定小委員会

開催日：令和4年3月8日 於：群馬県医師会 出席者：12名

〈議題〉

- (1) 令和3年度児童生徒腎臓・糖検診の結果について
- (2) 児童生徒健康管理対策実施要綱の一部改正（案）について
- (3) 学校検尿二次検診マニュアルの改訂について
- (4) 令和4年度における学校検尿の腎臓・糖尿三次検診病院について

3. 「学校医Q & A（改訂版）」編集事業

平成25年度に発行した「学校医Q & A」については発行から5年が経過し、学校保健に関する様々な制度変更等が見られていることから、令和元年度に改めて編集会議を組織した。昨年度に引き続き、「学校医Q & A（改訂版）」として発行すべく編集作業を行った。

- (1) 第8回

開催日：令和3年6月1日 於：群馬県医師会 出席者：5名

〈議題〉

ア. 学校医Q & A（改訂版）原稿の内容確認について

（ア） Q25～Q29の原稿について

- (2) 第9回（書面会議）

〈議題〉

ア. 学校医Q & A（改訂版）原稿の内容確認について

（ア） Q24、新規項目1～2の原稿について

- (3) 第10回（書面会議）

〈議題〉

ア. 学校医Q & A（改訂版）原稿の内容確認について

（ア） 新規項目3～5の原稿について

4. 群馬県学校医会総会（書面会議）・群馬県学校医研究大会

開催日：令和4年3月5日 於：群馬県医師会（WEB開催） 出席者：46名

研究発表：「感染症予防のための当地域の学校現場での取り組み」

講師：富岡市甘楽郡医師会理事 榎本清文 先生

特別講演：「学校における食物アレルギー対応とその課題」

講師：群馬大学大学院医学系研究科小児科学分野教授 滝沢琢己 先生

5. 学校保健に関する新型コロナウイルス感染症対策

日本医師会及び群馬県教育委員会からの通知について「学保新型コロナ第〇報」として、メーリングリストを用いて郡市医師会へ周知を行うことにより情報共有に努めた。また、学校現場での新型コロナウイルス

感染症対策が円滑に進められるよう、群馬県教育委員会と連携をとり、学校現場での混乱を避けるべく尽力した。

6. 学校保健に関する大会、協議会等への出席

- (1) 令和3年度関東甲信越静学校医協議会
開催日：令和3年8月5日 於：茨城県医師会（オンデマンド配信）
- (2) 第52回全国学校保健・学校医大会
開催日：令和3年10月30日 於：岡山県医師会（WEB開催）
- (3) 令和3年度学校保健講習会
開催日：令和3年4月11日 於：日本医師会（WEB開催）

第5. 児童・生徒心臓検診事業

群馬県教育委員会が定める「児童生徒健康管理対策実施要綱」により、県医師会及び群馬県健康づくり財団が群馬県・市町村・私立学校と受託契約を行い、本事業を実施した。県医師会は判定委員会を組織し、一次検診結果を基に総合判定を行い、委託者に検診結果を報告した。

また、小委員会を開催し健診結果のデータ分析を行うとともに児童生徒心臓検診の課題について検討した。さらにオンラインにて学校心臓検診講習会を開催し、二次検診の重要性についての啓蒙に努めた。

1. 児童・生徒心臓検診判定委員会

昨年度の判定委員会については、新型コロナウイルス感染症のまん延防止の観点から、できる限り少人数で判定作業を行うべく、県判定委員のみでの開催としたが、令和3年度については感染対策をとりつつ、郡市医師会の判定委員の先生方にも参画いただき、従来と同様の開催形式となった。

令和3年5月6日16名、5月13日17名、5月20日14名、5月27日15名、6月3日24名、6月10日23名、6月17日20名、7月1日22名、7月13日16名、9月30日11名、10月21日11名、11月4日11名の計12回、小学1年生、中学1年生、高校1年生及び一部の小学4年生（前橋市、高崎市、桐生市、伊勢崎市、太田市、沼田市、館林市、渋川市、安中市、みどり市、吉岡町、榛東村、上野村、下仁田町、中之条町、長野原町、嬭恋村、高山村、東吾妻町、板倉町、明和町、千代田町、邑楽町、大泉町、特別支援学校）の心臓検診の判定を行った。実施人数は63,108名で、そのうち要三次検診が7名、要二次検診が1,809名、要定期検診が1,186名、健康注意が399名、異常なしが59,707名であった。

2. 児童・生徒心臓検診判定小委員会

開催日：令和4年3月7日 於：群馬県医師会 出席者：10名
〈議題〉

- (1) 令和3年度児童生徒心臓検診の結果について
- (2) 最近の突然死等の状況について
- (3) 児童生徒健康管理対策実施要綱の一部改正（案）について
- (4) 心臓検診用調査票及び健康診断票（様式8）の外国版作成に関するその後の経過について
- (5) 令和4年度児童・生徒心臓検診判定委員会の開催日程について

3. 学校心臓検診講習会

開催日：令和3年7月20日 於：群馬県医師会（WEB開催） 出席者：66名

- (1) 演題：「群馬県学校心臓検診の現状と課題」
講師：群馬県立小児医療センター 副院長・児童・生徒心臓検診判定委員会委員長 小林富男 先生
- (1) 演題：「学校心臓検診2次検診対象者抽出のガイドライン ～2019年度版改定のポイント～」
講師：群馬県立小児医療センター 循環器科 部長 池田健太郎 先生

第6. へき地学校巡回検診事業

日頃、専門医を受診する機会に恵まれないへき地地域の学童を対象に眼科・耳鼻科の検診を実施し、疾患の早期発見及び疾病の重症化を予防するとともに児童生徒の健康管理を行った。

行政との契約に関する書類作成（検診結果取りまとめ等の実績報告）、出勤に向けての打ち合わせ、出勤医師及び学校との調整、関係機関等への各種通知、検診時の使用器具の準備（消毒作業等）のうえ、下記のとおり事業を実施した。

1. へき地学校巡回検診

- (1) 令和3年9月22日 みなかみ町立藤原小学校・みなかみ町立藤原中学校
- (2) 令和3年9月29日 中之条町立六合小学校・中之条町立六合中学校
- (3) 令和3年10月14日 高山村立高山小学校・高山村立高山中学校
- (4) 令和3年10月20日 片品村立片品小学校・片品村立片品中学校
- (5) 令和3年11月10日 上野村立上野小学校・上野村立上野中学校
- (6) 令和3年11月18日 草津町立草津小学校
- (7) 令和3年12月2日 草津町立草津中学校

第7. 母子保健・小児保健対策事業

群馬県・市町村・保健福祉事務所等が実施する保健事業に積極的に協力し、各種健診を通じ地域住民の母子保健・小児保健に対する正しい知識の普及に努めている。

平成31年4月より市町村から委託を受けている新生児聴覚検査事業と産婦健康診査事業は、遅延なく支払業務を実施した。令和3年4月から令和4年3月までの新生児聴覚検査の取扱いは、10,512件、産婦健康診査の取扱いは15,357件であった。

1. 小児保健に関する講演会

県医師会員並びに養護教諭・幼稚園教諭・保育士等を対象に講演会を開催した。

開催日：令和3年11月24日 於：群馬県医師会（WEB開催） 出席者：98名

演題：「食物アレルギーとその対策：最新の話題」

講師：社会福祉法人希望の家附属北関東アレルギー研究所所長 荒川浩一 先生

2. 群馬県内統一母子健康手帳検討事業

令和4年度に発行される県内統一の母子健康手帳について、検討会議委員により内容の検討を行った。

3. 母子保健に関する講演会等への出席

- (1) 令和3年度母子保健講習会

開催日：令和4年2月13日 於：日本医師会（WEB開催）

第8. 有床診療所事業

有床診療所を取り巻く諸問題に対して群馬県有床診療所協議会と連携し、迅速かつ適切な対応を行っている。県医師会担当理事が同協議会の役員に就任し、県医師会との関係を密にし諸問題に対応している。令和3年度は医療安全対策研修会を群馬県有床診療所協議会と共催で開催した。

また、全国の有床診療所の情報交換の場である、全国有床診療所連絡協議会総会には、徳島県有床診療所協議会の担当でハイブリットで開催され、本県からは本会の猿木理事が全国有床診療所連絡協議会副会長であるため、現地に赴いて参加した。

1. 役員会

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面開催となった。

〈議事〉

- (1) 令和2年事業報告及び決算（案）
- (2) 令和3年度事業計画（案）及び予算（案）

2. 全国有床診療所連絡協議会関東甲信越ブロック総会

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

3. 第34回全国有床診療所連絡協議会総会

開催日：令和3年10月23日～24日 於：群馬県医師会ホテルクレメント徳島・WEB開催

メインテーマ：「逆境の中で花咲く有床診療所 ―with コロナ時代を生き抜くために―」

特別講演：

演題：「最近の医療情勢とその課題 ―新型コロナウイルス感染症対策に向けて―」

講師：日本医師会 会長 中川俊男 先生

4. 総会・講演会

※総会：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面開催

〈議事〉

- (1) 令和2年度事業報告並びに決算（案）
- (2) 令和2年度監査報告について
- (3) 令和3年度事業計画（案）並びに予算（案）

〈報告事項〉

講演会（群馬県有床診療所協議会との共催）

開催日：令和4年2月28日 於：群馬県医師会（WEB開催） 出席者：111名

演題：「医療機関におけるサイバーセキュリティ対策について」

講師：株式会社 Blue Planet-works プロダクト&テクニカルサービス本部

セキュリティアドバイザー 嶋原祐輔 先生

5. 令和3年度有床診療所の日記念講演

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

第9. 福祉医療事業

福祉医療費補助金制度の仕組みを理解し、医療機関が円滑に請求事務を行うため、「福祉医療費補助金制度取扱要領」を1,620部作成。郡市医師会を通じ、全会員の医療機関に配付し制度の周知を図った。

また、福祉医療と他の公費負担医療制度との併給促進を目的としたチラシを作成し、県内医療機関に各10部配付した。

第10. 共同利用施設対策事業

地域医療のネットワークの中核として、また地域住民の健康状態を把握し地域の実情に即した形で地域医療の向上を図るため、また、県医師会・郡市医師会が運営・管理を行う共同利用施設（病院、老人保健施設、訪問看護ステーション、健診センター、臨床検査センター、医師会立看護師等養成所等）の運営実態や抱えている課題の把握・改善に努め、地域医療の充実を図る。

1. 第29回全国医師会共同利用施設総会

開催日：令和3年9月11日～12日 於：群馬県医師会（WEB開催）

メインテーマ：「医師会共同利用施設の今後のあり方 ―新型コロナウイルス感染症も踏まえて―」

特別講演：

演題：「最近の医療情勢とその課題 ―新型コロナウイルス感染症対策に向けて―」

講師：日本医師会 会長 中川俊男 先生

2. 関東甲信越医師会連合会医師会共同利用施設分科会

開催日：令和3年9月18日 於：群馬県医師会（WEB開催）

シンポジウム：「医師会立看護師等養成所の現状と課題」

特別講演：

演題：「長野県における健康づくり事業団の役割」

講師：長野県健康づくり事業団 専務理事 角田道夫 先生

第11. 在宅医療事業・地域包括ケアシステム事業

在宅医療の普及及び振興に努め、安心して在宅で療養生活ができるよう、医療分野から支援している。

外部の会議では、関東甲信越医師会連合会地域包括ケア部会に参加した。

小児在宅医療については平成30年度に立ち上げた小児在宅医療検討会議において、病院から在宅医療への移行をスムーズに行うための多職種によるチェックシートを作成し、利用の推進を行った。日本医師会主催の都道府県医師会小児在宅ケア担当理事連絡協議会に出席し、情報収集と会員への情報共有を行った。

1. 地域包括ケアシステム委員会

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

2. 関東甲信越医師会連合会地域包括ケア部会

開催日：令和3年7月17日 於：群馬県医師会（WEB開催） 出席者：45名

〈議題〉

(1) 地域包括ケアへの取り組み

ア. 新しい視点に立った地域包括ケアシステムへの取り組みについて

イ. 避難行動要支援者に該当する在宅医療患者の避難支援個別計画の策定について

ウ. 地域包括ケア、特に在宅医療領域の進捗状況

3. 令和3年度在宅医療関連講師人材養成事業（小児在宅医療分野）

開催日：令和3年10月22日 於：群馬県医師会（WEB開催） 出席者：5名

〈議題〉

(1) 小児在宅医療における自助、共助、公助

(2) コロナ禍のBCPの考え方

(3) 災害時のインフラの問題

(4) 災害時のデバイスの問題

(5) 小児在宅医療という視点での、病院におけるBCPの作成と地域との連携

(6) 小児在宅医療という視点での、クリニックにおけるBCPの作成と地域との連携

(7) グループワーク、結果共有

4. 令和3年度都道府県医師会小児在宅ケア担当理事連絡協議会

開催日：令和4年3月30日 於：群馬県医師会（WEB開催） 出席者：2名

〈議題〉

(1) 医療的ケア児支援法について

ア. 医療的ケア児支援センター等について

イ. 学校における医療的ケアの充実について

ウ. 保育所等における医療的ケア児への支援について

(2) 大阪府豊中市の取り組みについて

(3) 令和4年度診療報酬改定について（医療的ケア児関係）

(4) 小児在宅ケア検討委員会答申について

(5) 協議

5. 高齢者ケア専門研修 介護者のための医学的基礎知識講座への講師派遣

(1) 第1回

開催日：令和3年7月15日 於：明風園 出席者：30名

演題：「高齢期の特徴と疾患の理解」

講師：群馬県医師会理事 長坂資夫 先生

(2) 第2回

開催日：令和4年2月10日 於：群馬県医師会（WEB開催） 出席者：22名

演題：「高齢期の特徴と疾患の理解」

講師：群馬県医師会理事 長坂資夫 先生

6. 第17回在宅医療推進フォーラム

開催日：令和3年11月23日 於：東京ビッグサイト

〈議題〉

(1) With コロナ時代の在宅ケア～期待される新たな役割～

(2) 基調講演①：「人それぞれの老いと死」

基調講演②：「COVID-19に対する政府の取り組み」

(3) シンポジウム：「COVID-19と対峙した私たちの挑戦」

第12. 妊婦健康審査事業

平成9年4月より市町村から委託を受けている妊婦健診事業は、遅延なく支払業務を実施した。令和3年4月から令和4年3月までの取扱いは、131,655件であった。

第13. 脳卒中对策事業

脳卒中の地域医療連携のため、郡市医師会の協力を得て県内の計画管理病院と連携する医療機関の体制整備や、地域連携診療計画の情報交換を行うための「脳卒中医療連携の会」本会議の開催に協力している。具体的には県医師会報に「群馬脳卒中医療連携の会 本会議」の議事録を掲載し、連携のための情報共有を支援した。

1. 群馬脳卒中医療連携の会 本会議

(1) 第35回群馬脳卒中医療連携の会 本会議

開催日：令和3年4月20日 於：ZoomによるWEB開催 出席者：225名

(2) 第36回群馬脳卒中医療連携の会 本会議

開催日：令和3年7月20日 於：ZoomによるWEB開催 出席者：263名

(3) 第37回群馬脳卒中医療連携の会 本会議

開催日：令和4年1月25日 於：ZoomによるWEB開催 出席者：248名

第14. 広報活動事業

1. 広報・会報編集委員会

開催日：令和3年6月17日 於：群馬県医師会（WEB開催） 出席者：11名

〈議題〉

(1) 令和2年度の報告について

(2) 令和3年度の活動について

ア. 上毛新聞「突き出し広告」について

イ. 上毛新聞「元気+らいふ」コーナー（困っていませんか）について

2. 上毛新聞

(1) 突き出し広告

毎月第2、第4火曜日に、県民の公衆衛生の向上を図る医療情報を掲載した（年24回）。

(2) 元気+らいふ「困っていませんか」

奇数月号に、病気に関する解説を掲載した（年6回）。

第15. 地域医療資料館運営事業

地域医療資料館は、日本医史学会監事蔵方宏昌先生のご指導及び協力を得て運営しており、医療関連資料の展示並びに企画展示を開催するとともに、今後の展示の方向性について検討をしている。令和3年度は、ヒポクラテスをテーマに企画展示をする予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため延期となっている。

また、郡市医師会及び各医療機関の協力をいただき、収集整理した医学書・医療器械を同時に展示している。

第16. 臓器移植

臓器移植は、臓器の機能が低下し移植でしか治療ができない人と、死後に臓器を提供してもよいという人を結ぶ医療である。国内で臓器提供を待っている人は約14,000人で、そのうち移植を受けられる人は年間約300人程度と、諸外国と比べ極端に少ない。こうした現状に鑑み、臓器提供意思表示カードの普及を始め、臓器移植に関する周知並びに啓発活動を行うことで、県民のニーズに応えた医療の提供を目指す。

県民が健全な日常生活を営むためにも、臓器不全予防の重要性を啓発するとともに、県内各地域において、関係機関の協力により臓器移植体制の整備・強化を図った。

第17. 院内感染地域支援ネットワーク相談事業

医療機関が院内感染予防及び院内感染発生時の対応について相談できる体制を整備するため、院内感染に関する専門家からなるネットワークを構築し、県内において地域における院内感染対策支援を行った。

1. 感染症対策の会議及び講演会

(1) 令和3年度群馬県感染症対策連絡協議会総会・特別講演会

開催日：令和3年7月16日 於：群馬県医師会（WEB開催） 出席者：325名

〈プログラム〉

ア. 総会

(ア) 令和2年度事業報告について

(イ) 令和3年度事業計画について

イ. 一般演題

(ア) 演題：「当センターにおける COVID-19クラスター対応報告」

演者：群馬県立心臓血管センター 感染対策室 小野雄一 先生

(イ) 演題：「2021年上半期を振り返って」

演者：太田記念病院 薬剤部 山藤 満 先生

(ウ) 演題：「新型コロナウイルス感染症関連検査の実施状況について」

演者：太田記念病院 臨床検査部 山極健秋 先生

ウ. 特別講演

演題：「感染症対策とワクチン ～新型コロナウイルス流行をふまえて」

講師：川崎医科大学 小児科学 教授 中野貴司 先生

(2) 令和3年度群馬県感染症対策連絡協議会合同カンファレンス

開催日：令和4年1月7日 於：群馬県医師会（WEB開催） 出席者：321名

〈一般演題〉

(ア) 演題：「新型コロナウイルス感染症のクラスター発生を経験して」

演者：日高病院 感染防止対策室 中澤かほり 先生

(イ) 演題：「薬剤師分科会の報告 ～2021年を振り返って～」

演者：太田記念病院 薬剤部 山藤 満 先生

(ウ) 演題：「新型コロナウイルス感染症関連検査の実施状況について」

演者：くすの木病院 検査科 渡辺友樹 先生

〈特別講演〉

演題：「変異するウイルス、変化した生活、変貌すべき医療」

講師：長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 小児科学 教授 森内浩幸 先生

(3) 群馬県感染症対策連絡協議会 ICN 分科会

ア. 第1回

開催日：令和3年5月12日 於：群馬県医師会（WEB開催） 出席者：27名

〈議事〉

(ア) 令和3年度 ICN 分科会 初回あいさつ

(イ) WG 活動の見直し

(ウ) 学会テーマ立案

(エ) 情報交換

(オ) その他

イ. 第2回

開催日：令和3年8月4日 於：群馬県医師会（WEB開催） 出席者：28名

〈議事〉

(ア) ロナプリープ（カクテル療法）について（導入予定など）

(イ) 加算1病院における相互評価終了後、指摘事項等の改善事項をまとめていくことについて

(ウ) コロナ禍でままならない職員への福利厚生について

(エ) 心臓血管センターのクラスター対応に関する質問

(オ) その他

ウ. 第3回

開催日：令和3年10月13日 於：群馬県医師会（WEB開催） 出席者：32名

〈議事〉

(ア) 今年度のワーキンググループ活動について

(イ) 各病院の近況報告

(ウ) C-MAT の活動報告として

(エ) その他

エ. 第4回

開催日：令和3年11月25日 於：群馬県医師会 出席者：30名

〈議事〉

(ア) 児童養護施設訪問後の課題

(イ) クラスター対応報告

- (ウ) C-MAT 活動について
- (エ) 手指衛生向上への取り組み、直接観察法について
- (オ) 合同カンファレンスの演者について
- (カ) GOING 新メンバー紹介
- (キ) その他

オ. 第5回

開催日：令和4年3月9日 於：群馬県医師会（WEB開催） 出席者：30名

〈議事〉

- (ア) クラスタ報告
- (イ) C-MAT 報告書について
- (ウ) その他

2. 院内感染対策相談支援

県内医療機関等からの相談または、支援依頼に対して助言等を行った。

3. 医療機関ラウンド調査

- (1) 開催日：令和3年9月9日 於：公立碓氷病院
- (2) 開催日：令和3年9月18日 於：館出張佐藤病院
- (3) 開催日：令和3年9月22日 於：鶴谷病院
- (4) 開催日：令和3年9月29日 於：鶴谷病院
- (5) 開催日：令和3年9月30日 於：群馬リハビリテーション病院
- (6) 開催日：令和3年11月5日 於：希望館病院
- (7) 開催日：令和4年2月3日 於：石井病院
- (8) 開催日：令和4年3月7日 於：大島病院

Ⅲ 公衆衛生疾患治療推進事業

第1. 糖尿病・腎臓病対策事業

糖尿病は、心筋梗塞や脳卒中など動脈硬化性疾患の最大の危険因子であり、成人の4人に1人が糖尿病という高い罹患率をもつ。近年は発症年齢の若年化も大きな問題であり、その対策は急務である。増加し続ける糖尿病と腎臓病の発症・重症化予防、及び合併症の発症・重症化予防を目的とし、県内各地域において早期発見・早期治療、医療連携の推進に尽力している。また、県民の健康増進のために群馬県と群馬県糖尿病性腎症重症化予防プログラムを策定した。

1. 世界糖尿病デーにおける啓蒙活動

- (1) 上毛新聞への突き出し広告掲載 令和3年11月14日
- (2) 草津湯畑・高崎総合保健センター・白衣観音・臨江閣におけるブルーライトアップ

第2. 禁煙対策事業

喫煙とそれに伴う受動喫煙による健康被害は、肺がんを始めとして口腔・咽頭がん、食道がん、膀胱がんなどの多くのがん・心血管系疾患・呼吸器系疾患及び歯周疾患など全身の健康に影響を及ぼすことが明らかになっている。

群馬県歯科医師会及び群馬県薬剤師会と協働し「群馬県禁煙支援医師・歯科医師・薬剤師ネットワーク」を構築。受動喫煙の防止及び禁煙対策を一層推進するため、群馬県に協力した。

1. 群馬県禁煙支援県民公開講座

※新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため、受動喫煙の防止及び禁煙に係る啓発チラシ広告を県内に配布した。

2. 全国禁煙アドバイザー育成講習会

開催日：令和3年11月7日 於：高崎健康福祉大学 出席者：50名

第3. COPD 対策事業

慢性閉塞性肺疾患（COPD）について、現在、全国で21万人が治療を受けており、推定患者数は530万人とされている。COPDの主な原因は喫煙であることが多く、予防可能な疾患であるにもかかわらず、多くの人々に認知されていない現状がある。予防から早期発見、適切な医療提供、普及啓発を行うため、群馬県と協力した。

IV 医療水準向上事業

第1. 医療施設経営改善支援事業

平成6年度より医業経営の安定化を支援し国民医療の確保に資することを目的として、医療施設経営改善支援事業を展開し、群馬県では県医師会がその事業を委託され研修会を中心に事業を行った。平成10年度厚生労働省としての事業を終了、群馬県の事業が14年度で終了となったが、事業継続の要望が多く県医師会の事業として毎年開催している。令和3年度は、医療施設経営改善支援研修講演会の開催を、群馬県病院協会との共催で2回予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。

第2. 群馬県感染症対策連絡協議会事業

医療現場での院内感染対策については、各病院・診療所でも感染対策マニュアルの作成と感染対策委員会の設置等を行い対応しているが、専門家が不足していることもあり、十分とは云えない状況であることから、県医師会では平成22年に群馬県 ICD 連絡協議会を設立した。県内の院内感染対策の専門家に世話人として参画していただき、院内感染を担う人材の育成のための講演会の企画、感染症対策の相談への対応など、院内感染対策の充実を図っている。

院内感染対策は医療関係者の連携が不可欠なことから、平成24年度より、医師・看護師・薬剤師・検査技師にも参加を呼びかけ、名称も新たに「群馬県感染症対策連絡協議会」と変更した。平成30年度より医療関連団体に構成団体として賛同いただき、役員会を組織した。

また、群馬県感染症対策連絡協議会として、別記のとおり群馬県院内感染地域支援ネットワーク相談事業を行った。

第3. 調査・研究事業

群馬県、日本医師会、関係団体から依頼のあった諸調査やアンケートについて郡市医師会並びに会員の協力を得て回答した。

また、県医師会が必要とする調査についても郡市医師会や会員に協力を得て回答いただいている。調査結果については、事業の策定に極めて重要な資料として活用されている。

令和3年度に実施した主な調査、アンケートは次のとおりである。

1. 群馬県内のインフェクションコントロールドクター（ICD）が連携して感染制御にあたるための基礎データ作成のためのアンケート調査

2. 次期（令和4年度）労災診療費算定基準改定に向けての要望事項に関するアンケート
3. 医師会立助産師、看護師、准看護師学校養成所に対する調査
4. 大腸がん検診精密検査対応可能な医療機関の調査
5. 医療保険に関するアンケート

V 母体保護対策事業

第1. 母体保護法関連事業

母体保護法の規定に基づいて、審査委員会を設営し、人工妊娠中絶を行うことのできる医師の指定や審査を行い、それに伴う研修会を開催し、スキルアップに務めた。また、指定医師の責務である適正な母性の生命健康の保護について周知した。

1. 母体保護法指定医師審査委員会

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面開催
〈議題〉

(1) 更新申請者審査

更新対象者86名・更新申請者80名・更新辞退者6名・新規申請者5名

2. 母体保護法指定医師研修会

(1) 第1回

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

(2) 第2回

開催日：令和3年9月11日 於：群馬県医師会 出席者：80名

ア. 演題：「母体保護法の趣旨と適正な運用に関するもの」

講師：群馬県産婦人科医会長 永山雅之 先生

イ. 演題：「生命倫理に関するもの」

講師：群馬県産婦人科医会副会長 道下正彦 先生

ウ. 演題：「医療安全・救急処置に関するもの」

講師：群馬県医師会理事 佐藤雄一 先生

3. 母体保護法指定医師審査委員

群馬県医師会母体保護法指定医師指定規則の第17条第1項の定めにより、代議員会に次のとおり委員の報告をした（委員数：7名）。

群馬県医師会副会長 西松輝高、川島 崇

群馬県医師会理事 今泉友一、有坂 拓、佐藤雄一

群馬県産婦人科医会長 永山雅之

群馬県産婦人科医会副会長 道下正彦

（任期：令和2年6月25日から2年後の6月開催予定の群馬県医師会定時代議員会終結時）

VI 医療情報システム対策事業

第1. IT・医療情報システム事業

平成11年より独自サーバによる運用を開始したインターネット事業は現在数多くの会員が利用しており、

メールリングリストやホームページによる情報発信を行っている。

独自サーバで運用してきたメールサービスを外部サーバによるホスティングサービスに変更した。このことによりシステムの安定及びセキュリティの強化を図ることができた。

先進的にオンライン診療を導入されている東京都の山下巖先生を講師に招聘しオンライン診療に関する講演会を開催した。オンライン診療の基本的な方法や診療報酬の仕組み、コロナ禍での活用例に加え、ポストコロナ下でのオンライン診療の未来像についてわかりやすい内容で講演いただいた。

ランサムウェアなど被害が拡大しているサイバー攻撃への対応として、サイバーセキュリティに関する内容で医療安全対策研修会を開催し、その対策の啓蒙を図った。

1. IT 推進会議

- (1) 第1回 開催日：令和3年4月5日 於：群馬県医師会
- (2) 第2回 開催日：令和3年5月7日 於：群馬県医師会
- (3) 第3回 開催日：令和3年6月8日 於：群馬県医師会
- (4) 第4回 開催日：令和3年7月12日 於：群馬県医師会
- (5) 第5回 開催日：令和3年8月16日 於：群馬県医師会
- (6) 第6回 開催日：令和3年9月13日 於：群馬県医師会
- (7) 第7回 開催日：令和3年10月11日 於：群馬県医師会
- (8) 第8回 開催日：令和3年11月10日 於：群馬県医師会
- (9) 第9回 開催日：令和3年12月13日 於：群馬県医師会
- (10) 第10回 開催日：令和4年1月12日 於：群馬県医師会
- (11) 第11回 開催日：令和4年2月14日 於：群馬県医師会
- (12) 第12回 開催日：令和4年3月8日 於：群馬県医師会

〈主な議題〉

- ア. メールシステムの変更に関する件
- イ. オンライン診療に関する講演会に関する件
- ウ. 新型コロナウイルス感染症の宿泊療養患者等に対するオンライン診療システムに関する件
- エ. サイバーセキュリティに関する講演会の開催に関する件
- オ. 学術講演会のメール配信に関する件
- カ. 会長会議資料のペーパーレス化に関する件

2. オンライン診療に関する講演会

開催日：令和3年10月29日 於：群馬県医師会（WEB開催） 出席者：48名

演題：オンライン診療の価値と未来像6 G

講師：医療法人社団法山会 理事長 山下 巖 先生

3. 令和3年度日本医師会医療情報システム協議会

開催日：令和4年2月19日・20日 於：日本医師会（WEB開催） 出席者：519名

メインテーマ：「新しい時代の医療 ICT ―ウィズコロナを生き抜く」

セッション内容：

- I. 日本医師会が目指す医療 ICT
- II. 国が目指す医療 ICT
- III. 医療 ICT のサイバーセキュリティ
- IV. 地域医療情報連携ネットワーク（コロナ禍での有用性）
- V. 新しい時代の診療形態
- VI. 医療 DX を進めるための先進 ICT 技術

4. 日医標準レセプトソフト

日本医師会が推奨する、日医標準レセプトソフトの導入について、県内の導入数は357医療機関となった。

5. 医療安全対策研修会（サイバーセキュリティに関する講演会）

開催日：令和4年2月28日 於：群馬県医師会（WEB開催）出席者：111名

演題：「医療機関におけるサイバーセキュリティ対策について」

講師：株式会社 Blue Planet-works プロダクト&テクニカルサービス本部

セキュリティアドバイザー 嶋原祐輔 先生

Ⅶ 医療安全対策事業

第1. 医事紛争対策事業

県医師会員の医事紛争に対し相互扶助として昭和34年に発足した医療事故処理会は、現在医療事故対策委員会として引き継がれ、現況報告・事故防止対策等について協議を行っている。また、平成11年より事案の対応機関として医事紛争調査会を通常月1回開催し、関係医療機関から報告を受けるとともに、必要があれば弁護士に依頼し、医療機関及び患者等のために紛争等の早期対応・解決に努めてきた。

平成16年には「医療事故防止の活動指針」を策定し、医療事故発生の原因究明、再発防止を図るとともに、医療事故が多発する施設に対し指導を行った。

制度発足以来、令和4年3月までに受理した医事紛争件数は920件でそのうち879件を処理解決した。また、日本医師会に付託した件数は148件で、142件を処理解決した。

1. 医療事故対策委員会

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面開催

2. 医療安全対策研修会（サイバーセキュリティに関する講演会）

開催日：令和4年2月28日 於：群馬県医師会（WEB開催）出席者：111名

演題：「医療機関におけるサイバーセキュリティ対策について」

講師：株式会社 Blue Planet-works プロダクト&テクニカルサービス本部

セキュリティアドバイザー 嶋原祐輔 先生

3. 医療事故・医事紛争事例報告会

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

第2. 医療事故調査制度対策事業

平成27年10月より施行された医療事故調査制度に関わる事業として、県医師会は医療事故調査等支援団体に指定され県内の医療機関からの相談等を受け付けている。令和3年度の相談件数は、院内調査について2件であった。院内調査委員会への外部委員派遣依頼については2件あり、本会担当理事が委員として出席した。また、講演会は群馬県と群馬大学・高崎健康福祉大学との共催により、世界患者安全の日である9月17日に開催し、医療関係者への制度の理解と普及に努めた。さらに県内の支援団体のまとめ役を担っていることから、群馬県医療事故調査等支援団体連絡協議会を開催し、21支援団体と相互の連携を確認する予定であったが新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。

1. 医療安全対策講演会

開催日：令和3年9月17日 於：群馬ロイヤルホテル 出席者：58名

演題：「医療安全施策の動向について」

講師：厚生労働省医政局総務課医療安全推進室長 岡田就将 先生

2. 群馬県医療事故調査等支援団体連絡協議会

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

第3. 医療・苦情相談事業

日本医師会は平成12年より「診療情報に関する指針」を施行し、平成19年には「診療に関する個人情報の取り扱い指針」、「診療に関する相談事業運営方針」を施行した。

県医師会でも日本医師会が示した指針に基づき、平成12年2月1日に「診療情報に関する相談窓口」を設置し、診療情報の提供や医療全般にかかわる様々な相談・苦情を受け付け、相談内容により担当理事が対応し、必要に応じて医療機関に連絡を取りながら相談者への迅速かつ丁寧な対応を心掛け処理にあたっている。県医師会における令和3年度の相談件数は3件で、現在まで378件（平成12年2月1日～令和4年3月31日）に対応している。

VIII 地域医療介護総合確保基金

第1. 女性医師等就労環境整備・保育支援事業

1. 子育て医師に対する支援事業

子育て医師の出産・育児を理由とした離職防止を図り、県内の医師確保に寄与することを目的として、医療介護総合確保基金を活用し運営している「保育サポーターバンク」は、令和3年度においても引き続き対象となる医師及びサポーターの募集を行い、サポーター向けの研修会を開催した。子育て医師保育支援相談員は、医師が希望する支援内容に基づき、保育サポーター研修会を受講したサポーターの中から支援者をコーディネートした。利用医師に対しては、基金より利用料金の一部等を助成した。また、郡市医師会や行政、大学等から有識者を集め女性医師支援委員会並びに保育サポーターバンク運営委員会を開催し、事業の運営や拡充等についての協議を行い、女性医師等の勤務環境支援に取り組んだ。

令和4年3月現在、登録医師数226名、登録サポーター数244名、令和3年度の総利用時間は20,906時間であった。

2. 第8回女性医師支援委員会、第15回保育サポーターバンク運営委員会（同時開催）

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面開催となった。

〈議事〉

- (1) 女性医師支援サポートブックの作成について
- (2) 保育サポーターバンク通信の発行について
- (3) 口コミでサポーターを紹介してくれたサポーターへの謝礼について
- (4) 保育サポーターバンクの利用状況について
- (5) 保育サポーター研修会について
- (6) 医学生、研修医等をサポートするための会について
- (7) 保育サポーターバンク設立10周年記念事業（仮）について
- (8) 日本医師会男女共同参画フォーラムについて

3. 第20回保育サポーターバンク研修会

開催日：令和3年11月14日 於：群馬県医師会 出席者：10名

- (1) 演題1：「子どもの病気とホームケア」

講師：いまいずみ小児科院長 今泉友一 先生

第2. 多職種連携推進拠点事業

群馬県は高齢化が進んでおり、団塊の世代が全て75歳以上となる2025年以降は、国民の医療や介護の需要がさらに増強することが見込まれることから、地域に添った包括的な支援・サービス提供体制の構築（地域包括ケアシステム）が早急の課題となる。

地域包括ケアシステムの推進に向け、多職種が一堂に会して共通認識を持ち、県民への普及啓発を図る方策について検討する場「オール群馬 群馬県多職種連携推進協議会」で、高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができる社会の実現に尽力する行政や医療・介護の専門職を紹介し、その役割や特性を踏まえて平成30年4月に全ての市町村で新たに始まった在宅医療・介護連携推進事業等の地域支援事業に資する情報をそれぞれの視点から提示することで、患者ご本人やそのご家族が医療・介護を受ける場合は勿論、健康寿命を延伸させる一助となるような有意義な会議の場を創生した。昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の流行下において、各団体と情報共有の場としても活躍した。

地域医療に有用と考えられるICTの活用事例やその構築手順について紹介した動画を作成し、それを多職種連携推進協議会のホームページ上で公開した。各地域で動画が活用されることで多職種による地域包括ケアシステムの構築が進むことが期待できる。

1. 群馬県多職種連携推進協議会の運営会議

(1) 第1回

開催日：令和3年7月27日 於：群馬県医師会（WEB開催） 出席者：23名

〈検討事項〉

- ア. 事前アンケートについて（ワクチン接種、LIFE加算等）
- イ. コロナ禍における地域包括ケアシステムの空間的変容
- ウ. なぜ今、「ワンヘルス（One Health）」なのか
- エ. パンデミックと地域包括ケアシステム
- オ. コロナ禍後の社会変化と期待されるイノベーション像
- カ. 群馬県医師会報の多職種連携推進協議会の紹介ページについて

第3. 医師（研修医・看護師を含む）を対象とした在宅医療同行研修事業

主に在宅医療の経験のない、或いは経験の少ない医師を対象として、在宅医療同行研修を実施している。

併せて、群馬県在宅医療支援診療所連絡会との共催による研修会を開催しているが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。

第4. 糖尿病病診連携等推進事業

糖尿病は心筋梗塞や脳卒中といった動脈硬化性疾患のリスクを高め、腎症等の合併症を併発することにより、生活の質の低下に多大な影響を及ぼすものであるにもかかわらず、予備群を含めた有病者数は増加の一途を辿っていることもあり、しっかりとした診療連携体制を構築することが重要である。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、会議は開催できず、糖尿病手帳についても在庫残数が多いことから、増刷はせず、希望された医療機関に配布した。

第5. かかりつけ医機能研修事業

日本医師会は、かかりつけ医を「なんでも相談できる上、最新の医療情報を熟知して、必要な時には専門医、専門医療機関を紹介でき、身近で頼りになる地域医療、保健、福祉を担う総合的な能力を有する医師」と位置づけ、「かかりつけ医機能」のあるべき姿を評価し、その能力を維持・向上するために「かかりつけ医機能研修制度」を創設した。本事業では、かかりつけ医の養成のために日本医師会が作成したDVD及び

テキストを用いて「日医かかりつけ医機能研修制度応用研修会」を会場視聴で開催した。

1. 群馬県医師会 日医かかりつけ医機能研修制度 令和3年度応用研修会

開催日：令和4年1月10日(月) 於：群馬県医師会 出席者：27名

演題：「かかりつけ医の質・医療安全」

講師：医療法人社団つくし会 理事長 新田國夫 先生他1名

演題：「メタボリックシンドロームからフレイルまで」

講師：東京大学高齢社会総合研究機構 機構長 飯島勝矢 先生

演題：「地域医療連携と医療・介護連携」

講師：産業医科大学医学部公衆衛生学 教授 松田晋哉 先生

演題：「地域包括ケアシステムにおけるかかりつけ医の役割」

講師：医療法人博仁会 志村大宮病院 理事長・院長 鈴木邦彦 先生 他1名

演題：「リハビリテーションと栄養管理・摂食嚥下障害」

講師：岡山済生会総合病院内科・がん科学療法センター 主任医長 犬飼道雄 先生

演題：「地域連携症例」

講師：医療法人社団仁生堂大村病院 院長 石垣泰則 先生

第6. 循環器病病診連携等推進事業

高齢人口の増加や心筋梗塞等の治療の進歩により、高齢者の心不全は増加している。

一般的な病気であるが、医療の進歩に伴い、一医療機関で診療が完結しないことも多く、しっかりとした診療連携体制を構築することが重要である。退院後は、一般の診療所や在宅・施設等での加療も必要となり、診療連携体制は、大きな役割を担うことになる。

令和3年度は、診療連携推進のために、心不全健康管理手帳を改定増刷し医療機関へ配布した。

IX 収益事業

第1. 集金事務代行事業

生命保険会社7社、損害保険会社4社と団体扱い契約を締結し、事務手数料を受領した。

また会員福利厚生事業の一環としてグループ保険制度を実施し、事務手数料を受領した。

○生命保険会社

アクサ生命、朝日生命、住友生命、第一生命、日本生命、大樹生命、明治安田生命

○損害保険会社

あいおいニッセイ同和損保、損保ジャパン、東京海上日動火災保険

三井住友海上火災保険

第2. 事務受託事業

群馬県病院協会をはじめ、医会・同窓会・協議会（16団体）の事務を受託し、円滑な事務執行と各会運営活動の支援を行った。

第3. 賃貸事業

1. 群馬メディカルセンターの管理運営について

令和3年4月1日現在の入居団体は県医師会・群馬県医師信用組合・群馬県医師国民健康保険組合・群馬

産業保健総合支援センター・群馬県栄養士会・群馬県臨床検査技師会・群馬メディカル保険サービス・群馬県診療放射線技師会・群馬県医師連盟の9団体である。

(1) 群馬メディカルセンターの維持及び整備について

ア. 建築関係は、受水槽・高架水槽清掃、本館4階渡り廊下と5階の雨漏り修理工事、新館駐車場の門扉解体撤去とロープの取付工事を実施した。

イ. 設備関係は、別館2階女子トイレのドアノブ交換、本館4階給湯室排水ホース取替・清掃、本館2階のブラインド工事、本館3階と4階の蛍光灯安定器取替工事を実施した。

X 共益事業

第1. 会報・会員名簿事業

1. 群馬県医師会報

県医師会の会務報告や学術研究の発表、医療保険情報等各種情報の提供、会員の提言などを掲載し月刊で年間12回、33,000部発行した。また、令和3年5月号附録に臨時代議員会の議案書、議事録を掲載し、令和3年8月号附録に定時代議員会の議案書、議事録を掲載し年間2回、2,570部ずつ発行した。令和3年9月号に「ポストコロナ時代のオンライン診療について」をテーマとして特集号を発行した。

2. 広報・会報編集委員会

(1) 第1回

開催日：令和3年6月17日 於：群馬県医師会（WEB開催） 出席者：11名

〈議題〉

ア. 令和2年度の報告について

(ア) 令和2年度経費

イ. 令和3年度の編集について

(ア) 特集号について

(イ) 掲載内容について

(ウ) 新しい紙面について

(エ) 現在の紙面について

(オ) 別刷りの費用について

3. 会員名簿

会員名簿は平成28年度より偶数年度に発行しているため、令和3年度は発行していない。

第2. 文化厚生事業

各種の文化厚生事業を、会員相互の親睦を図ることを目的として、郡市医師会の支援・協力により実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、俳句大会のみ紙上句会とし、そのほかの事業を中止した。

また、厚生事業委員会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面開催した。

1. 厚生事業委員会

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面開催（令和3年5月実施）

〈議題〉

(1) 令和2年度厚生事業報告

(2) 令和3年度厚生事業について

- (3) 予算について
- (4) 令和4年度厚生事業について
- (5) 厚生事業の継続について

2. 俳句大会

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため紙上句会（令和3年5月実施）

担当：伊勢崎佐波医師会

3. 野球大会

開催日：令和3年6月19日 於：上毛新聞敷島球場

担当：群馬県医師会

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。

4. ボウリング大会

開催日：令和3年7月25日 於：パークレーン高崎

担当：高崎市医師会

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。

5. ゴルフ大会

開催日：令和3年10月17日 於：太田双葉カントリークラブ

担当：太田市医師会

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。

6. テニス大会

開催日：令和3年11月7日 於：浜川運動公園テニスコート

担当：桐生市医師会、太田市医師会、藤岡多野医師会、富岡市甘楽郡医師会

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。

7. 音楽祭

開催日：令和3年10月31日 於：群馬県医師会

担当：高崎市医師会

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。

8. 北関東三県医師会ゴルフ大会

開催日：令和3年10月頃 於：日光カンツリー倶楽部

担当：栃木県医師会

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。

9. 麻雀大会

開催日：令和3年12月5日 於：雀荘ほたか

担当：群馬県医師会

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。

10. 囲碁大会

開催日：令和4年1月30日 於：群馬県医師会

担当：群馬県医師会

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。

11. スキー・スノーボード大会

開催日：令和4年2月27日 於：川場スキー場

担当：沼田利根医師会

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。

第3. 証明書発行事業

県医師会会員証を希望する会員に発行した。令和3年度の発行枚数は16枚であった。

XI 法人会計事業

第1. 代議員会

1. 第150回定時代議員会

令和3年6月24日、代議員73名中70名の出席を得て県医師会大ホールにおいて開催した。

令和2年度会務報告の後、「群馬県医師会会計決算の件」を上程し、監査報告を受けた後可決された。また、令和4年度群馬県医師会入会金、会費及び負担金の賦課徴収及び減免に関する件が上程され可決された。新型コロナウイルスワクチンの過不足状況について、本多真代議員、岡本克実代議員より要望等があった。

〈議事〉

第1号議案 令和2年度群馬県医師会会計決算の件

第2号議案 令和4年度群馬県医師会の人会金、会費及び負担金等の賦課徴収及び減免に関する件

2. 第151回臨時代議員会

令和4年3月24日、代議員73名中、71名の出席を得て県医師会大ホールにおいて開催した。令和4年度群馬県医師会事業計画書・収支予算書の件を報告し、次に、令和3年度群馬県医師会会費減免申請の件が上程され可決された。学校現場での新型コロナウイルス感染症対策について、川島理代議員より情報提供があった。

〈報告〉

令和4年度群馬県医師会事業計画、収支予算書の件

〈議事〉

第1号議案 令和3年度群馬県医師会会費減免申請の件

第2. 理事会

24回開催し、会務全般の執行に努めた。なお、議事については群馬県医師会報に掲載した。

第1回 開催日：令和3年4月15日 於：群馬県医師会

第2回 開催日：令和3年4月27日 於：群馬県医師会

第3回 開催日：令和3年5月14日 於：群馬県医師会

第4回 開催日：令和3年5月28日 於：群馬県医師会

第5回 開催日：令和3年6月15日 於：群馬県医師会

第6回 開催日：令和3年6月30日 於：群馬県医師会

第7回 開催日：令和3年7月14日 於：群馬県医師会

第8回 開催日：令和3年7月30日 於：群馬県医師会

第9回 開催日：令和3年8月10日 於：群馬県医師会

第10回 開催日：令和3年8月31日 於：群馬県医師会

第11回 開催日：令和3年9月14日 於：群馬県医師会

第12回 開催日：令和3年9月30日 於：群馬県医師会

第13回 開催日：令和3年10月14日 於：群馬県医師会

第14回 開催日：令和3年10月28日 於：群馬県医師会

- 第15回 開催日：令和3年11月12日 於：群馬県医師会
- 第16回 開催日：令和3年11月30日 於：群馬県医師会
- 第17回 開催日：令和3年12月14日 於：群馬県医師会
- 第18回 開催日：令和3年12月27日 於：群馬県医師会
- 第19回 開催日：令和4年1月14日 於：群馬県医師会
- 第20回 開催日：令和4年1月28日 於：群馬県医師会
- 第21回 開催日：令和4年2月15日 於：群馬県医師会
- 第22回 開催日：令和4年2月25日 於：群馬県医師会
- 第23回 開催日：令和4年3月15日 於：群馬県医師会
- 第24回 開催日：令和4年3月31日 於：群馬県医師会

第3. 郡市会長会議

12回開催し、会務全般の執行に努めた。なお、議事については群馬県医師会報に掲載した。

また、新型コロナウイルス感染症対策を施した上で、12月には「受章（賞）及び永年勤続役員・職員表彰祝賀会」を開催した。なお、例年1月に開催している「新年会並びに敬寿会」は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

- 第1回 開催日：令和3年4月20日 於：群馬県医師会
- 第2回 開催日：令和3年5月19日 於：群馬県医師会
- 第3回 開催日：令和3年6月18日 於：群馬県医師会
- 第4回 開催日：令和3年7月20日 於：群馬県医師会
- 第5回 開催日：令和3年8月18日 於：群馬県医師会
- 第6回 開催日：令和3年9月17日 於：群馬県医師会
- 第7回 開催日：令和3年10月19日 於：群馬県医師会
- 第8回 開催日：令和3年11月18日 於：群馬県医師会
- 第9回 開催日：令和3年12月17日 於：群馬県医師会

〈受章（賞）者〉7名

春の叙勲・旭日双光章：石田 稔 先生

春の叙勲・瑞宝双光章：佐藤洋一 先生

春の叙勲・瑞宝双光章：高橋好一 先生

秋の叙勲・旭日双光章：田中 義 先生

秋の叙勲・瑞宝小綬章：李 雅弘 先生

群馬県功労者表彰： 中屋光雄 先生

日本医師会最高優功賞：須藤英仁 先生

〈永年勤続役員〉

20年：釜蒔 敏 先生、山崎恒彦 先生

10年：服部徳昭 先生、北川泰久 先生

〈永年勤続職員〉12名

第10回 開催日：令和4年1月20日 於：群馬県医師会（新年会・敬寿会は中止）

敬寿会員総数339名（白寿0名、米寿13名、喜寿24名）。米寿・喜寿の先生方には、後日、記念品をお贈りした。

第11回 開催日：令和4年2月18日 於：群馬県医師会

第12回 開催日：令和4年3月18日 於：群馬県医師会

第4. 官庁連絡会議

12回開催し、群馬県健康福祉部関係課をはじめ、関係機関との連絡、協議、情報交換を行った。なお、例年開催している移動会長会議、新年会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

- 第1回 開催日：令和3年4月6日 於：群馬県医師会
- 第2回 開催日：令和3年5月7日 於：群馬県医師会
- 第3回 開催日：令和3年6月3日 於：群馬県医師会
- 第4回 開催日：令和3年7月6日 於：群馬県医師会
- 第5回 開催日：令和3年8月3日 於：群馬県医師会
- 第6回 開催日：令和3年9月3日 於：群馬県医師会
- 第7回 開催日：令和3年10月5日 於：群馬県医師会
- 第8回 開催日：令和3年11月5日 於：群馬県医師会
- 第9回 開催日：令和3年12月3日 於：群馬県医師会
- 第10回 開催日：令和4年1月7日 於：群馬県医師会
- 第11回 開催日：令和4年2月3日 於：群馬県医師会
- 第12回 開催日：令和4年3月3日 於：群馬県医師会

第5. 各種委員会

委員会の開催状況は次のとおり。

1. 公衆衛生委員会

開催なし

2. 厚生事業委員会

書面開催

3. 広報・会報編集委員会

開催日：令和3年6月17日（WEB開催）

4. 医療保険委員会

開催日：令和3年4月6日、10月12日、令和4年3月16日（全てWEB開催）

5. 地域包括ケアシステム委員会

開催なし

6. 学術・生涯教育委員会

開催日：令和3年10月7日（WEB開催）

7. 産業衛生委員会

開催なし

8. 介護保険委員会

開催日：令和3年7月27日、令和4年3月11日（全てWEB開催）

9. 女性医師支援委員会

書面開催

10. 医療関連職対策委員会

開催なし

11. 母体保護法指定医師審査委員会

書面開催

12. 勤務医委員会

開催日：令和3年8月5日（WEB開催）

13. 学校保健委員会
書面開催
14. 救急・災害医療対策委員会
書面開催
15. 医療事故対策委員会
書面開催
16. 小児保健委員会
開催なし
17. 精度管理委員会
開催なし
18. 定款改正委員会
開催なし
19. 感染症・予防接種対策委員会
開催日：令和3年11月18日（ハイブリッド開催）
20. 労災・自賠償委員会
開催なし
21. 医療情報システム委員会
開催なし
22. 選挙管理委員会
開催なし

第6． 関東甲信越医師会連合会

医師会本来の目的である医道の高揚、医学及び医術の発達並びに公衆衛生の向上を図り、社会福祉を増進することを達成するため、関東甲信越地区の各都県医師会で構成する関東甲信越医師会連合会の事業に積極的に参加し、各都県医師会相互の連絡協調、日本医師会に対する協力及び意見具申を行うため、千葉県医師会の担当により下記のとおり各種会議が開催された。

- (1) 常任理事会 3回（WEB開催）
- (2) 理事会 1回（WEB開催）
- (3) 定例大会 1回（WEB開催）
- (4) 医療保険部会 1回（WEB開催）
- (5) 介護保検・地域包括ケア部会 1回（WEB開催）
- (6) 救急災害部会 1回（WEB開催）
- (7) 医師会共同利用施設分科会（WEB開催、長野県医師会担当）

例年開催している関医連所属医師会長・日本医師会代議員合同会議、事務局長連絡会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。関医連所属医師会長会議（WEB開催）3回が開催された。

第7． 関東甲信越静地区衛生主管部（局）長・医師会長合同協議会

群馬県と群馬県医師会の担当により関東甲信越静地区の衛生主管部（局）長と担当者及び医師会役員の協力を得て、行政と医師会が係わる医療に関する諸問題について書面にて協議・開催した。また、国への要望事項をとりまとめて国へ提出した。なお、承り事項は下記のとおり。

〈承り事項〉

新型コロナ関連

- (1) 新型コロナウイルス等の対策を踏まえた大規模災害における避難所対応力の強化について
 - (2) コロナ禍におけるがん検診受診率向上対策について
 - (3) 埼玉県における診療・検査医療機関公表の結果並びに今後の方針に関して
 - (4) コロナ陽性要介護高齢者・認知症者への対応について
- 〈その他〉
- (1) 都道府県循環器病対策推進計画の策定について
 - (2) 外国人患者に対する諸問題について
 - (3) 専門研修医制度における地域枠等医師の取扱について
 - (4) 遠隔（オンライン）診療の課題について
 - (5) 「科学的介護情報システム（LIFE）」の効果的な運用と活用に向けて各都県・医師会が行っている（予定している）支援対策等について

第8. 日本医師会

1. 第149回日本医師会定例代議員会

開催日：令和3年6月27日（WEB開催）

出席者：須藤英仁、西松輝高、川島 崇、今泉友一、小島 章

報告：令和3年度日本医師会事業計画及び予算の件

令和2年度日本医師会事業報告の件

議事：第1号議案 令和2年度日本医師会会費減免申請の件

第2号議案 令和2年度日本医師会決算の件

第3号議案 令和4年度日本医師会会費賦課徴収の件

2. 第150回日本医師会臨時代議員会

開催日：令和4年3月27日（WEB開催）

出席者：須藤英仁、西松輝高、川島 崇、今泉友一、小島 章

報告：令和4年度日本医師会事業計画及び予算の件

議事：第1号議案 令和3年度日本医師会会費減免申請の件

第2号議案 日本医師会定款・諸規程一部改正の件

第3号議案 医の倫理綱領一部改正の件

3. 都道府県医師会長会議（WEB開催）

3回開催された。

(1) 開催日：令和3年5月18日

(2) 開催日：令和3年9月21日

(3) 開催日：令和4年1月18日

4. 群馬県医師会選出の日本医師会役員及び委員会委員等

任期（令和3年度～令和4年度）

(1) 常任理事：釜菴 敏

(2) 医師の働き方検討委員会長：須藤英仁

(3) 学術推進会議委員：須藤英仁

(4) 議事運営委員会委員：川島 崇

(5) 予防接種・感染症危機管理対策委員会委員：川島 崇

(6) 准看護師試験準備委員会委員：長坂資夫

(7) 医師会共同利用施設検討委員会委員：猿木和久

- (8) 有床診療所委員会委員：猿木和久
- (9) 医療安全対策委員会委員：渡邊秀臣
- (10) 医療情報システム協議会運営委員会委員：服部徳昭
- (11) 医療秘書認定試験委員会委員：服部徳昭
- (12) 医療 IT 委員会委員：服部徳昭
- (13) 病院委員会委員：鶴谷英樹
- (14) 会員の倫理・資質向上委員会委員：美原 盤
- (15) 未来医師会ビジョン委員会委員：須藤雄仁
- (16) 選挙管理委員：吉川守也
- (17) 予備選挙管理委員：清宮和之

1. 議 事

第1号議案 令和3年度群馬県医師会会計決算の件

正味財産増減

令和3年4月1日から

科 目	合 計		
	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	226,612,500	227,782,000	▲ 1,169,500
事業収益	2,843,101,063	2,896,288,943	▲ 53,187,880
賛助金収益	1,080,000	1,620,000	▲ 540,000
受取補助金	54,189,846	63,172,811	▲ 8,982,965
受取寄付金	0	1,130,000	▲ 1,130,000
雑収益	58,815,165	56,591,351	2,223,814
経常収益計	3,183,798,574	3,246,585,105	▲ 62,786,531
(2) 経常費用			
事業費	3,000,970,801	2,996,263,890	4,706,911
管理費	60,858,352	56,201,060	4,657,292
経常費用計	3,061,829,153	3,052,464,950	9,364,203
当期経常増減額	121,969,421	194,120,155	▲ 72,150,734
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益	0	354,660	▲ 354,660
経常外収益計	0	354,660	▲ 354,660
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	1,119,087	83,708	1,035,379
過年度県補助金返還	0	243,000	▲ 243,000
経常外費用計	1,119,087	326,708	792,379
当期経常外増減額	▲ 1,119,087	27,952	▲ 1,147,039
当期一般正味財産増減額	120,850,334	194,148,107	▲ 73,297,773
一般正味財産期首残高	4,372,038,914	4,177,890,807	194,148,107
一般正味財産期末残高	4,492,889,248	4,372,038,914	120,850,334
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	2,037,470	37,500,000	▲ 35,462,530
受取寄付金	2,037,470	37,500,000	▲ 35,462,530
一般正味財産への振替額	▲ 25,630	▲ 15,075,584	15,049,954
当期指定正味財産増減額	2,011,840	22,424,416	▲ 20,412,576
指定正味財産期首残高	37,525,632	15,101,216	22,424,416
指定正味財産期末残高	39,537,472	37,525,632	2,011,840
III 正味財産期末残高	4,532,426,720	4,409,564,546	122,862,174

計算書前年度比較

公益社団法人 群馬県医師会

令和4年3月31日まで

(単位：円)

病 院 以 外			病 院		
当年度	前年度	増 減	当年度	前年度	増 減
226,612,500	227,782,000	▲ 1,169,500	0	0	0
93,123,081	95,406,973	▲ 2,283,892	2,749,977,982	2,800,881,970	▲ 50,903,988
1,080,000	1,620,000	▲ 540,000	0	0	0
38,916,196	45,339,311	▲ 6,423,115	15,273,650	17,833,500	▲ 2,559,850
0	1,030,000	▲ 1,030,000	0	100,000	▲ 100,000
25,136,074	26,267,945	▲ 1,131,871	33,679,091	30,323,406	3,355,685
384,867,851	397,446,229	▲ 12,578,378	2,798,930,723	2,849,138,876	▲ 50,208,153
255,775,044	259,789,131	▲ 4,014,087	2,745,195,757	2,736,474,759	8,720,998
60,858,352	56,201,060	4,657,292			
316,633,396	315,990,191	643,205	2,745,195,757	2,736,474,759	8,720,998
68,234,455	81,456,038	▲ 13,221,583	53,734,966	112,664,117	▲ 58,929,151
0	0	0	0	354,660	▲ 354,660
0	0	0	0	354,660	▲ 354,660
1,119,077	83,700	1,035,377	10	8	2
0	243,000	▲ 243,000	0	0	0
1,119,077	326,700	792,377	10	8	2
▲ 1,119,077	▲ 326,700	▲ 792,377	▲ 10	354,652	▲ 354,662
67,115,378	81,129,338	▲ 14,013,960	53,734,956	113,018,769	▲ 59,283,813
838,095,269	756,965,931	81,129,338	3,533,943,645	3,420,924,876	113,018,769
905,210,647	838,095,269	67,115,378	3,587,678,601	3,533,943,645	53,734,956
2,037,470	37,500,000	▲ 35,462,530	0	0	0
2,037,470	37,500,000	▲ 35,462,530	0	0	0
▲ 25,630	▲ 15,075,584	15,049,954	0	0	0
2,011,840	22,424,416	▲ 20,412,576	0	0	0
37,525,632	15,101,216	22,424,416	0	0	0
39,537,472	37,525,632	2,011,840	0	0	0
944,748,119	875,620,901	69,127,218	3,587,678,601	3,533,943,645	53,734,956

正味財産増減

令和3年4月1日から

科 目	公益目的事業会計					
	医療従事者 資質向上事業	地域保健医療 推進事業	公衆衛生疾病 治療推進事業	医療水準 向上事業	母体保護 対策事業	医療情報 システム事業
I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
受取会費	57,162,787	13,138,638	253,208	3,499,284	409,802	9,070,381
受取会費	55,635,909	12,797,175	245,867	3,397,835	397,921	8,807,419
受取入会金	1,526,878	341,463	7,341	101,449	11,881	262,962
事業収益	2,755,626,198	51,632,144	0	30,000	885,000	1,320,000
公費受託金収益	3,203,296	3,222,184	0	30,000	0	0
臨床検査精度管理実施収益	0	1,370,000	0	0	0	0
講習会・研修会収益	215,000	0	0	0	130,000	0
認定医登録収益	710,000	0	0	0	755,000	0
生涯教育講座登録料収益	1,380,000	0	0	0	0	0
医療保険事務収益	2,298,769,965	0	0	0	0	0
受託事業収益	451,208,017	0	0	0	0	0
手数料収益	88,920	47,039,960	0	0	0	0
参加費負担金収益	51,000	0	0	0	0	1,320,000
賛助金収益	0	0	0	0	0	0
医師会報刊行賛助金収益	0	0	0	0	0	0
受取補助金	19,514,512	11,148,969	450,000	0	0	0
受取県費補助金	3,347,000	5,591,403	0	0	0	0
受取日医・その他補助金	2,870,862	5,557,566	450,000	0	0	0
受取国庫補助金	13,296,650	0	0	0	0	0
雑収益	33,763,091	0	0	0	0	0
受取利息	13,964	0	0	0	0	0
受取賃貸料	0	0	0	0	0	0
雑収益	33,749,127	0	0	0	0	0
経常収益計	2,866,066,588	75,919,751	703,208	3,529,284	1,294,802	10,390,381
(2) 経常費用						
事業費	2,819,520,502	76,879,816	737,770	4,006,927	1,350,739	11,286,319
役員報酬	10,323,840	8,320,200	67,920	611,280	169,800	1,188,600
給料手当	1,455,660,688	21,276,074	173,682	1,563,140	434,205	3,039,440
臨時雇賃金	0	0	0	0	0	0
法定福利費	213,401,385	3,205,293	26,165	235,491	65,414	457,900
福利厚生費	19,127,980	64,033	522	4,704	1,306	9,148
旅費・交通費	39,497,861	391,454	3,195	28,760	7,989	55,923

科 目	公 益 目 的 事 業 会 計					
	医療従事者 資質向上事業	地域保健医療 推進事業	公衆衛生疾病 治療推進事業	医療水準 向上事業	母体保護 対策事業	医療情報 システム事業
会 議 費	4,746,322	11,636,254	2,509	89,825	167,274	759,363
研 修 費	2,835,107	0	0	0	0	0
通信運搬費	6,440,800	2,440,619	8,237	77,345	50,767	2,074,424
消 耗 品 費	22,499,051	1,720,490	2,737	26,041	6,842	72,903
修 繕 費	25,516,793	56,001	457	4,114	1,143	157,601
印刷製本費	4,660,787	2,658,974	7,556	68,014	18,892	132,249
新聞・図書費	1,863,740	175,001	1,428	12,858	3,570	25,001
光熱水料費	68,307,874	496,776	4,055	36,498	10,138	70,969
賃 借 料	45,515,129	275,174	190	1,713	476	3,332
保 險 料	15,793,937	1,168,712	9,453	85,079	23,633	165,431
渉 外 費	1,790,258	728,960	5,919	53,278	14,799	106,838
租 税 公 課	41,488,690	2,244,063	18,312	164,811	45,781	320,467
広 告 費	2,710,264	2,251,187	213,951	14	3	27
支払負担金	3,062,290	0	0	0	0	0
支払寄付金	1,063,000	0	0	0	0	0
支払助成金	1,636,357	3,592,829	103,528	31,758	8,821	61,752
委 託 費	202,640,973	3,478,413	13,404	120,636	133,510	1,127,771
薬品機材費	59,856,174	0	0	0	0	0
材 料 費	44,078,022	0	0	0	0	0
支 払 利 息	297,910	51,602	421	3,791	1,053	7,372
受 託 業 務	412,761,106	0	0	0	0	0
減価償却費	73,376,419	6,957,602	49,643	567,398	124,107	1,021,293
役員退職慰勞引当金繰入額	1,630,656	1,314,180	10,728	96,552	26,820	187,740
職員退職慰勞引当金繰入額	28,124,062	1,677,761	13,696	123,264	34,240	239,680
雑 費	8,813,027	698,164	62	563	156	1,095
管 理 費						
役員報酬						
給料手当						
法定福利費						
福利厚生費						
旅費・交通費						
会 議 費						
通信運搬費						
消 耗 品 費						
修 繕 費						
印刷製本費						
新聞・図書費						
光熱水料費						

			収 益 事 業 等 会 計			法人会計	合 計
医療安全 対策事業	基金事業	小 計	収益事業	共益事業	小 計		
528,843	315,855	18,246,245	194,576	155,356	349,932	18,596,177	
0	0	2,835,107	0	0	0	2,835,107	
32,659	297,391	11,422,242	1,130,339	421,223	1,551,562	12,973,804	
23,264	150,157	24,501,485	434,530	54,738	489,268	24,990,753	
3,886	5,486	25,745,481	332,733	9,142	341,875	26,087,356	
64,234	2,076,733	9,687,439	471,684	7,900,267	8,371,951	18,059,390	
12,141	17,142	2,110,881	57,143	28,571	85,714	2,196,595	
34,469	48,663	69,009,442	4,084,343	81,106	4,165,449	73,174,891	
1,618	173,284	45,970,916	628,252	3,806	632,058	46,602,974	
80,352	968,838	18,295,435	2,380,040	189,062	2,569,102	20,864,537	
56,258	71,036	2,827,346	236,794	1,147,295	1,384,089	4,211,435	
155,855	219,748	44,657,727	1,908,165	366,246	2,274,411	46,932,138	
12	260,717	5,436,175	5,264	30	5,294	5,441,469	
0	0	3,062,290	0	0	0	3,062,290	
0	0	1,063,000	0	0	0	1,063,000	
29,993	4,603,843	10,068,881	141,146	240,573	381,719	10,450,600	
113,934	534,848	208,163,489	12,503,648	380,545	12,884,193	221,047,682	
0	0	59,856,174	0	0	0	59,856,174	
0	0	44,078,022	0	0	0	44,078,022	
3,580	5,055	370,784	16,851	8,423	25,274	396,058	
0	0	412,761,106	0	0	0	412,761,106	
421,965	621,346	83,139,773	8,534,119	992,859	9,526,978	92,666,751	
91,188	128,736	3,486,600	429,120	214,560	643,680	4,130,280	
116,416	164,352	30,493,471	547,840	273,920	821,760	31,315,231	
532	112,430	9,626,029	1,286,879	1,250	1,288,129	10,914,158	
					60,858,352	60,858,352	
					7,810,800	7,810,800	
					19,973,484	19,973,484	
					3,009,081	3,009,081	
					60,139	60,139	
					367,513	367,513	
					10,077,609	10,077,609	
					517,956	517,956	
					319,261	319,261	
					52,603	52,603	
					1,333,296	1,333,296	
					164,340	164,340	
					466,390	466,390	

科 目	公 益 目 的 事 業 会 計					
	医療従事者 資質向上事業	地域保健医療 推進事業	公衆衛生疾病 治療推進事業	医療水準 向上事業	母体保護 対策事業	医療情報 システム事業
賃借料						
保険料						
渉外費						
租税公課						
広告費						
支払負担金						
支払寄付金						
支払助成金						
委託費						
支払利息						
減価償却費						
役員退職慰勞引当金繰入額						
職員退職慰勞引当金繰入額						
雑費						
経常費用計	2,819,520,502	76,879,816	737,770	4,006,927	1,350,739	11,286,319
当期経常増減額	46,546,086	▲ 960,065	▲ 34,562	▲ 477,643	▲ 55,937	▲ 895,938
2. 経常外増減の部						
(1) 経常外収益						
経常外収益計	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用						
除却損失	10	1	0	0	0	342,145
什器備品除却損	0	1	0	0	0	342,145
医療用器械備品除却損	10	0	0	0	0	0
無形固定資産除却損	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	10	1	0	0	0	342,145
当期経常外増減額	▲ 10	▲ 1	0	0	0	▲ 342,145
他会計振替額	7,188,880	1,607,685	34,562	477,643	55,937	1,238,083
当期一般正味財産増減額	53,734,956	647,619	0	0	0	0
一般正味財産期首残高	3,533,943,645	▲ 647,619	0	0	0	0
一般正味財産期末残高	3,587,678,601	0	0	0	0	0
II 指定正味財産増減の部						
受取寄付金	0	2,037,470	0	0	0	0
受取寄付金	0	2,037,470	0	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	2,037,470	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	37,500,000	0	0	0	1
指定正味財産期末残高	0	39,537,470	0	0	0	1
III 正味財産期末残高	3,587,678,601	39,537,470	0	0	0	1

			収益事業等会計			法人会計	合計
医療安全 対策事業	基金事業	小計	収益事業	共益事業	小計		
						21,919	21,919
						1,087,145	1,087,145
						959,564	959,564
						2,105,942	2,105,942
						211	211
						178,350	178,350
						1,050,000	1,050,000
						1,065,820	1,065,820
						1,541,484	1,541,484
						48,476	48,476
						5,708,973	5,708,973
						1,233,720	1,233,720
						1,575,050	1,575,050
						129,226	129,226
4,078,830	19,028,290	2,936,889,193	46,182,916	17,898,692	64,081,608	60,858,352	3,061,829,153
▲ 401,726	▲ 1,032,796	42,687,419	11,389,693	0	11,389,693	67,892,309	121,969,421
0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	342,156	0	0	0	776,931	1,119,087
0	0	342,146	0	0	0	1	342,147
0	0	10	0	0	0	0	10
0	0	0	0	0	0	776,930	776,930
0	0	342,156	0	0	0	776,931	1,119,087
0	0	▲ 342,156	0	0	0	▲ 776,931	▲ 1,119,087
401,726	385,177	11,389,693	▲ 11,389,693	0	▲ 11,389,693	0	0
0	▲ 647,619	53,734,956	0	0	0	67,115,378	120,850,334
0	647,619	3,533,943,645	0	0	0	838,095,269	4,372,038,914
0	0	3,587,678,601	0	0	0	905,210,647	4,492,889,248
0	0	2,037,470	0	0	0	0	2,037,470
0	0	2,037,470	0	0	0	0	2,037,470
0	▲ 25,630	▲ 25,630	0	0	0	0	▲ 25,630
0	▲ 25,630	2,011,840	0	0	0	0	2,011,840
0	25,631	37,525,632	0	0	0	0	37,525,632
0	1	39,537,472	0	0	0	0	39,537,472
0	1	3,627,216,073	0	0	0	905,210,647	4,532,426,720

貸借対照表

公益社団法人 群馬県医師会

令和4年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	867,006,309	809,661,673	57,344,636
医業未収金	368,379,866	452,649,959	▲ 84,270,093
未 収 金	39,693,110	35,319,540	4,373,570
棚卸資産	14,384,010	13,775,779	608,231
前払費用	3,435,234	7,719,900	▲ 4,284,666
仮払金	24,452,803	25,753,166	▲ 1,300,363
立替金	1,099,837	1,180,628	▲ 80,791
仮払消費税等	34,548,300	29,756,700	4,791,600
流動資産合計	1,352,999,469	1,375,817,345	▲ 22,817,876
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
什器備品	2	25,632	▲ 25,630
役員退職慰労積立金	55,824,750	50,460,750	5,364,000
職員退職給付積立金	509,681,314	528,435,389	▲ 18,754,075
災害対策積立金	2,700,000	2,700,000	0
建物建設積立金	1,577,000,000	1,447,000,000	130,000,000
施設整備積立金	300,000,000	300,000,000	0
コロナ対策寄付積立金	39,537,470	37,500,000	2,037,470
特定資産合計	2,484,743,536	2,366,121,771	118,621,765
(2) その他固定資産			
建 物	671,093,060	699,326,130	▲ 28,233,070
建物付属設備	75,745,213	93,035,219	▲ 17,290,006
構 築 物	25,050,232	28,730,345	▲ 3,680,113
車両運搬具	84,891	170,290	▲ 85,399
什器備品	2,534,991	4,630,712	▲ 2,095,721
医療用器械備品	17,486,395	13,754,955	3,731,440
その他器械備品	4,824,746	10,266,483	▲ 5,441,737
リース資産	10,707,170	20,004,950	▲ 9,297,780
土 地	245,890,257	245,890,257	0
ソフトウェア仮勘定	0	30,240,000	▲ 30,240,000
電話加入権	54,000	54,000	0
保証金・敷金	1,652,000	1,828,000	▲ 176,000
預託金	46,220	46,220	0
有価証券	13,270,000	13,270,000	0
長期貸付金	42,945,300	42,409,605	535,695
無形固定資産	80,682,039	8,783,155	71,898,884
その他の投資	240,307,658	211,477,032	28,830,626
その他固定資産合計	1,432,374,172	1,423,917,353	8,456,819
固定資産合計	3,917,117,708	3,790,039,124	127,078,584
資 産 合 計	5,270,117,177	5,165,856,469	104,260,708

科 目	当年度	前年度	増 減
II 負債の部			
1. 流動負債			
買掛金	66,650,729	36,581,394	30,069,335
未払金	7,210,549	22,965,959	▲ 15,755,410
前受金	1,806,820	1,410,320	396,500
預り金	19,588,404	20,030,885	▲ 442,481
仮受金	1,468,721	1,606,276	▲ 137,555
流動負債合計	96,725,223	82,594,834	14,130,389
2. 固定負債			
長期借入金	64,752,000	74,796,000	▲ 10,044,000
役員退職慰労引当金	55,824,750	50,460,750	5,364,000
職員退職給付引当金	509,681,314	528,435,389	▲ 18,754,075
リース債務	10,707,170	20,004,950	▲ 9,297,780
固定負債合計	640,965,234	673,697,089	▲ 32,731,855
負債合計	737,690,457	756,291,923	▲ 18,601,466
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
地方公共団体補助金	2	25,632	▲ 25,630
寄付金	39,537,470	37,500,000	2,037,470
指定正味財産合計	39,537,472	37,525,632	2,011,840
(うち特定資産への充当額)	39,537,472	37,525,632	2,011,840
2. 一般正味財産	4,492,889,248	4,372,038,914	120,850,334
(うち特定資産への充当額)	1,879,700,000	1,749,700,000	130,000,000
正味財産合計	4,532,426,720	4,409,564,546	122,862,174
負債及び正味財産合計	5,270,117,177	5,165,856,469	104,260,708

財 産 目 録

公益社団法人 群馬県医師会

令和4年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額		
(流動資産)	現金	社団事務所	運転資金として	146,398	
		群馬リハビリテーション病院	運転資金として	2,049,908	
	預 金(普通預金)	群馬県医師信用組合本店	社団事務所運転資金として(12口)		82,988,712
		群馬銀行本店	〃	(4口)	94,784,842
		東和銀行本店	〃	(1口)	439,561
		足利銀行前橋支店	〃	(1口)	622,921
		群馬銀行中之条支店	群馬リハビリテーション病院運転資金として	(1口)	500,413,607
		群馬県医師信用組合本店	〃	(1口)	2,510,512
		(定期預金)	群馬銀行中之条支店	群馬リハビリテーション病院運転資金として	
	群馬県医師信用組合本店		〃		20,000,000
	ぐんまみらい信用組合中之条支店		〃		5,049,848
	(定期積金)	群馬銀行中之条支店	群馬リハビリテーション病院運転資金として		66,000,000
		群馬県医師信用組合本店	〃		8,000,000
	《現金預金計》			867,006,309	
	医業未収金	群馬リハビリテーション病院	公益目的事業(人材育成事業)に対する社会保険診療報酬2・3月分等	368,379,866	
	《医業未収金計》			368,379,866	
	未 収 金	社団事務所	公益目的事業に対する補助金・助成金・委託費及び収益事業等に対する手数料等	32,316,434	
		群馬リハビリテーション病院	公益目的事業(人材育成事業)に対するクレジット利用代金等	7,376,676	
	《未 収 金 計》			39,693,110	
	棚卸資産	社団事務所	公益目的事業・収益事業等の用に供する貯蔵品	451,222	
群馬リハビリテーション病院		公益目的事業(人材育成事業)の用に供する医薬品・診療財産・貯蔵品	13,932,788		
《棚 卸 資 産 計》			14,384,010		
前払費用	社団事務所	役員・会員傷害保険料等	3,435,234		
《前 払 費 用》			3,435,234		
仮 払 金	社団事務所	公益目的事業・収益事業等の用に供する労働保険料等	1,171,192		
	群馬リハビリテーション病院	公益目的事業(人材育成事業)の用に供する労働保険料等	23,281,611		
《仮 払 金 計》			24,452,803		
立替金	社団事務所	公益目的事業・収益事業等に対する手数料等	1,099,837		
《立 替 金 計》			1,099,837		
仮払消費税等	前橋税務署	令和3年度分子予定消費税納税額	34,548,300		
《仮 払 消 費 税 等 計》			34,548,300		
流 動 資 産 合 計			1,352,999,469		
(固定資産) 特定資産	什器備品	社団事務所	公益目的事業の用に供する財産	2	
	《什 器 備 品 計》			2	
	役員退職慰労積立金	群馬県医師信用組合本店	役員退職慰労資金として	55,824,750	
	《役員退職慰労積立金計》			55,824,750	
	職員退職給付積立金	群馬県医師信用組合本店	社団事務所の職員退職給付資金として		84,244,609
		群馬銀行中之条支店	群馬リハビリテーション病院の職員退職給付資金として		22,600,000
		明治安田生命保険	群馬リハビリテーション病院の職員退職給付資金として		402,836,705
《職員退職給付積立金計》			509,681,314		

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額	
その他固定資産	災害対策積立金	群馬県医師信用組合本店	公益目的事業(救急・災害医療対策事業)の用に供する災害対策資金として	2,700,000
		《災害対策積立金計》		2,700,000
	建物建設積立金	群馬銀行中之条支店	公益目的事業(人材育成事業)の用に供する建物の老朽化に伴う建替え資金として	294,000,000
		群馬県医師信用組合本店	公益目的事業(人材育成事業)の用に供する建物の老朽化に伴う建替え資金として	1,258,000,000
		群馬県医師信用組合本店	公益目的事業・収益事業等に供する賃貸用等建物の老朽化に伴う建替え資金として	25,000,000
		《建物建設積立金計》		1,577,000,000
	施設整備積立金	群馬県医師信用組合本店	収益事業等に供する賃貸用等建物の老朽化に伴う移転取り壊し資金として	300,000,000
		《施設整備積立金計》		300,000,000
	コロナ対策寄付積立金	群馬県医師信用組合本店	コロナウイルス感染拡大防止活動の資金として	39,537,470
		《コロナ対策寄付積立金計》		39,537,470
		《特定資産計》		2,484,743,536
	建 物	前橋市千代田町1-7-4 (5階建2棟他)	公益目的事業・収益事業等の用に供する財産	73,425,284
		中之条町上沢渡2136 (4階建地下1階)	公益目的事業(人材育成事業)の用に供する財産 (公益目的保有財産)	597,667,776
		《建 物 計》		671,093,060
	建物付属設備	前橋市千代田町1-7-4 (5階建2棟他)	公益目的事業・収益事業等の用に供する財産	8,141,691
		中之条町上沢渡2136 (4階建地下1階)	公益目的事業(人材育成事業)の用に供する財産 (公益目的保有財産)	67,603,522
		《建物付属設備計》		75,745,213
	構 築 物	中之条町上沢渡2136	公益目的事業(人材育成事業)の用に供する財産 (公益目的保有財産)	25,050,232
		《構 築 物 計》		25,050,232
	車両運搬具	前橋市千代田町1-7-4	公益目的事業・収益事業等の用に供する財産	2
		中之条町上沢渡2136	公益目的事業(人材育成事業)の用に供する財産 (公益目的保有財産)	84,889
		《車 両 運 搬 具 計》		84,891
	什器備品	前橋市千代田町1-7-4	公益目的事業・収益事業等の用に供する財産	2,534,991
		《什 器 備 品 計》		2,534,991
	医療用器械備品	前橋市千代田町1-7-4	公益目的事業(基金事業)の用に供する財産	4
		中之条町上沢渡2136	公益目的事業(人材育成事業)の用に供する財産 (公益目的保有財産)	17,486,391
		《医療用器械備品計》		17,486,395
	その他器械備品	中之条町上沢渡2136	公益目的事業(人材育成事業)の用に供する財産 (公益目的保有財産)	4,824,746
		《その他の器械備品計》		4,824,746
	リース資産	前橋市千代田町1-7-4	公益目的事業・収益事業等の用に供する財産	4,552,020
		中之条町上沢渡2136	公益目的事業(人材育成事業)の用に供する財産 (公益目的保有財産・他)	6,155,150
		《リ ー ス 資 産 計》		10,707,170
土 地	前橋市千代田町1-7-4 2144.5㎡	公益目的事業・収益事業等の用に供する財産	136,340,538	
	中之条町上沢渡2136 4765.8㎡	公益目的事業・収益事業等の用に供する財産	49,144,204	
	中之条町上沢渡2136 5395.3㎡	公益目的事業(人材育成事業)の用に供する財産 (公益目的保有財産)	60,405,515	
	《土 地 計》		245,890,257	
電話加入権	前橋市千代田町1-7-4	公益目的事業・収益事業等の用に供する財産	16,000	
	中之条町上沢渡2136	公益目的事業(人材育成事業)の用に供する財産	38,000	
	《電 話 加 入 権 計》		54,000	
保証金・敷金	中之条町他	公益目的事業(人材育成事業)の用に供する財産	1,652,000	
	《保 証 金 ・ 敷 金 計》		1,652,000	

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額	
貸借対照表科目	預託金	前橋市千代田町1-7-4	公益目的事業・収益事業等の用に供する財産	22,950
		中之条町上沢渡2136	公益目的事業(人材育成事業)の用に供する財産	23,270
		《預託金計》		46,220
	有価証券	群馬県医師信用組合本店	公益目的事業・収益事業等の用に供する財産	13,250,000
		中央労働金庫中之条支店	公益目的事業(人材育成事業)の用に供する財産	20,000
		《有価証券計》		13,270,000
	長期貸付金 (修学資金)	療法士就学生等	公益目的事業(人材育成事業)の用に供する財産	42,945,300
		《長期貸付金計》		42,945,300
	無形固定資産 (ソフトウェア)	前橋市千代田町1-7-4	公益目的事業収益事業等・法人会計の用に供する財産	79,897,414
		中之条町上沢渡2136	公益目的事業(人材育成事業)の用に供する財産	784,625
		《無形固定資産計》		80,682,039
	非適格年金資産	明治安田生命保険	群馬リハビリテーション病院の職員退職給付資金として	240,307,658
		《非適格年金資産計》		240,307,658
		《その他の固定資産計》		1,432,374,172
	固定資産合計			3,917,117,708
資産合計			5,270,117,177	
(流動負債)	買掛金	群馬リハビリテーション病院	公益目的事業(人材育成事業)の用に供する債務	66,650,729
		《買掛金計》		66,650,729
	未払金	社団事務所	公益目的事業・収益事業等の用に供する債務	7,210,549
		《未払金計》		7,210,549
	前受金	社団事務所	公益目的事業・収益事業等の用に供する債務	1,806,820
		《前受金計》		1,806,820
	預り金	社団事務所	公益目的事業・収益事業等の用に供する債務	3,489,715
		群馬リハビリテーション病院	公益目的事業(人材育成事業)の用に供する債務	16,098,689
		《預り金計》		19,588,404
	仮受金	群馬リハビリテーション病院	公益目的事業(人材育成事業)の用に供する債務	1,468,721
《仮受金計》		1,468,721		
流動負債合計			96,725,223	
(固定負債)	長期借入金	社団事務所	公益目的事業・収益事業等の用に供する債務(土地)	19,260,000
		社団事務所	公益目的事業・収益事業等の用に供する債務(設備)	5,500,000
		群馬リハビリテーション病院	公益目的事業(人材育成事業)の用に供する債務(設備)	39,992,000
		《長期借入金計》		64,752,000
	役員退職慰労引当金	社団事務所	役員15名に対する慰労金の支払いに備えたもの	55,824,750
		《役員退職慰労引当金計》		55,824,750
	職員退職給付引当金	社団事務所	職員16名に対する退職金の支払いに備えたもの	84,244,609
		群馬リハビリテーション病院	職員240名に対する退職金の支払いに備えたもの	425,436,705
		《職員退職給付引当金計》		509,681,314
	リース債務	社団事務所	公益目的事業・収益事業等の用に供する債務	4,552,020
群馬リハビリテーション病院		公益目的事業(人材育成事業)の用に供する債務	6,155,150	
《リース債務計》		10,707,170		
固定負債合計			640,965,234	
負債合計			737,690,457	
正味財産			4,532,426,720	

財務諸表に対する注記

令和4年3月31日現在

1 継続事業の前提に関する注記

継続事業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況は存在しない。

2 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

有価証券の評価基準は、取得原価法であり、評価方法は、移動平均法で行っている。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準は、取得原価法であり、評価方法は、最終仕入原価法で行っている。

(3) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産

定額法及び定率法で行っている。

リース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法で行っている。

無形固定資産

定額法で行っている。

(4) 引当金の計上基準

① 役員退職慰労引当金

役員の退職給付に備えるため、当事業年度末における要退職給付支給額の全額を計上している。

② 職員退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、当事業年度末における要退職給付支給額の全額を計上している。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式を採用している。

3 会計方針の変更

該当なし

4 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基 本 財 産				
小 計	0	0	0	0
特 定 資 産				
什 器 備 品	25,632	0	25,630	2
役員退職慰労積立金	50,460,750	5,364,000	0	55,824,750
職員退職給付積立金	528,435,389	32,890,281	51,644,356	509,681,314
災害対策積立金	2,700,000	0	0	2,700,000
建物建設積立金(病院)	1,447,000,000	105,000,000	0	1,552,000,000
建物建設積立金(医師会館)	0	25,000,000	0	25,000,000
施設整備積立金	300,000,000	0	0	300,000,000
コロナ対策寄附積立金	37,500,000	2,037,470	0	39,537,470
小 計	2,366,121,771	170,291,751	51,669,986	2,484,743,536
合 計	2,366,121,771	170,291,751	51,669,986	2,484,743,536

5 基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基 本 財 産				
小 計	0	0	0	0
特 定 資 産				
什 器 備 品	2	2	0	0
役員退職慰労積立金	55,824,750	0	0	55,824,750
職員退職給付積立金	509,681,314	0	0	509,681,314
災害対策積立金	2,700,000	0	2,700,000	0
建物建設積立金(病院)	1,552,000,000	0	1,552,000,000	0
建物建設積立金(医師会館)	25,000,000	0	25,000,000	0
施設整備積立金	300,000,000	0	300,000,000	0
コロナ対策寄附積立金	39,537,470	39,537,470	0	0
小 計	2,484,743,536	39,537,472	1,879,700,000	565,506,064
合 計	2,484,743,536	39,537,472	1,879,700,000	565,506,064

6 担保に供している資産

該当なし

7 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
その他の固定資産			
建 物	2,499,181,632	1,828,088,572	671,093,060
建 物 附 属 設 備	1,331,935,915	1,256,190,702	75,745,213
構 築 物	116,070,991	91,020,759	25,050,232
車 両 運 搬 具	4,227,736	4,142,845	84,891
什 器 備 品	50,651,877	48,116,886	2,534,991
医 療 用 器 械 備 品	343,756,620	326,270,225	17,486,395
そ の 他 器 械 備 品	135,587,170	130,762,424	4,824,746
リ ー ス 資 産	42,289,320	31,582,150	10,707,170
土 地	245,890,257	—	245,890,257
電 話 加 入 権	54,000	—	54,000
保 証 金 ・ 敷 金	1,652,000	—	1,652,000
預 託 金	46,220	—	46,220
有 価 証 券	13,270,000	—	13,270,000
長 期 貸 付 金	42,945,300	—	42,945,300
無 形 固 定 資 産	262,201,595	181,519,556	80,682,039
非 適 格 年 金 資 産	240,307,658	—	240,307,658
合 計	5,330,068,291	3,897,694,119	1,432,374,172

8 保証債務等の偶発債務

該当なし

9 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

10 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
受 取 県 費 補 助 金					
群馬県在宅医療システム構築事業 医師(研修医・看護師を含む)を対象 とした在宅医療同行研修事業費	医 務 課 地 域 包 括 ケ ア 推 進 室	1 25,631	0 0	0 25,630	1 1
女性医師等就労環境整備・保育支援事業	医 務 課		12,750,000	12,750,000	
精度管理・標準化事業補助金	医 務 課		1,600,000	1,600,000	
クラスター対策チーム活動支援事業	医 務 課		1,700,000	1,700,000	
群馬県医学会事業補助金	医 務 課		250,000	250,000	
院内保育所運営補助金	医 務 課		2,675,000	2,675,000	
新人看護職員研修事業補助金	医 務 課		422,000	422,000	
多職種連携推進事業	地 域 包 括 ケ ア 推 進 室		300,000	300,000	
地域医療介護連携感染症予防対策事業	地 域 包 括 ケ ア 推 進 室		1,049,000	1,049,000	
かかりつけ医機能研修事業	地 域 包 括 ケ ア 推 進 室		115,000	115,000	
循環器病病診連携等推進事業	地 域 包 括 ケ ア 推 進 室		1,983,000	1,983,000	
福祉医療費公費負担制度協力事業	国 保 援 護 課		1,212,403	1,212,403	
学校保健会専門部会研修派遣費・活動費	学 校 保 健 会		30,000	30,000	
小 計		25,632	24,086,403	24,112,033	2
受 取 日 医 そ の 他 補 助 金					
生涯教育事業費	日 本 医 師 会		1,527,000	1,527,000	
コロナ患者受入病床確保調整支援事業	日 本 医 師 会		4,807,566	4,807,566	
国民医療を守るための国民運動活動費	日 本 医 師 会		500,000	500,000	
都道府県医師会助成費	日 本 医 師 会		7,741,000	7,741,000	
予防接種に関する普及啓発の推進助成費	日 本 医 師 会		250,000	250,000	
糖尿病対策地域支援助成費	日 本 医 師 会		450,000	450,000	
勤務医活動助成費	日 本 医 師 会		550,000	550,000	
医学生・研修医等をサポートするための会費用	日 本 医 師 会		113,330	113,330	
かかりつけ医機能研修制度支援金	日 本 医 師 会		100,000	100,000	
産 業 医 助 成 金	日 本 医 師 会		380,532	380,532	
医師年金助成金	日 本 医 師 会		120,000	120,000	
胃内視鏡・子宮がん検診従事者講習会助成費	健康づくり財団		200,000	200,000	
小 計			16,739,428	16,739,428	
受 取 国 庫 補 助 金					
事業運営費	(財) 労 災 保 険 情 報 セ ン タ		1,120,000	1,120,000	
新型コロナウイルス感染症 感染拡大防止等支援事業	厚 生 労 働 省		10,150,000	10,150,000	
両立支援等助成金	厚 生 労 働 省		1,568,385	1,568,385	
育児休業支援助成金	厚 生 労 働 省		300,000	300,000	
特定求職者雇用開発助成金 (特定就職困難者コース)	群 馬 労 働 局		200,000	200,000	
小 計			13,338,385	13,338,385	
合 計		25,632	54,164,216	54,189,846	2

- 11 指定正味財産から一般正味財産への振替
事業費計上による経常収益への振替額25,630円

- 12 関連当事者との取引
該当なし

- 13 重要な後発事象
該当なし

- 14 リース取引
 - (1) ファイナンス・リース取引
所有権移転外ファイナンス・リース取引
リース資産の内容は キャノンデジタル複合機、会計・給与システム
医事会計システム、医事会計追加システム、コピー複合機
 - (2) オペレーティングリース取引
該当なし

監 査 報 告 書

令和4年5月19日

公益社団法人群馬県医師会

会長 須 藤 英 仁 殿

監事 中 屋 光 雄 ㊟

監事 大 澤 英 夫 ㊟

私たち監事は、令和3年4月1日から令和4年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行について監査を行いましたので、本監査報告書を作成し、次の通り報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討しました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算関係書類（貸借対照表、正味財産増減計算書、及びその附属明細書）、並びに財産目録について検討しました。

2 監査結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上

